



「三巻は早のん、へん」

NTR 1771 69%

X
悪堕ち

さいおんじ ありさ

西園寺 有紗の屈服！！

ごめんなさい、私もうアナタじゃダメみたい♡

「私の全うは
閣下のため♡」

フルカラー漫画 本編72P



さしおんじ ありさ

西園寺 有紗の屈服!!

ごめんなさい、私もうアナタじゃダメみたい♡



ダメっ!

お願いっ!許してっ
私には夫もっ、子供もいるのっ!



誰かっ!助けてっ!

きつちり怪人化させてやるから
くだらねえ事はさっさと忘れちまいなっ!

へへっ!そいつは丁度いい
繁殖にもってこいなメスじゃねーか!



ズキユッ

怪人化

ドクーン

身体がっ！

ビクッ

ドクーン

ビクッ

ドクーン

熱いっ！

メスの個体数が少ない怪人が身に着けた繁殖方。人間の女と性行為を行い体内に「怪人化を促す因子」を注入する

注入量が一定量を超えると因子が発現し

熱いっ！

がああああっ！

ドクーン

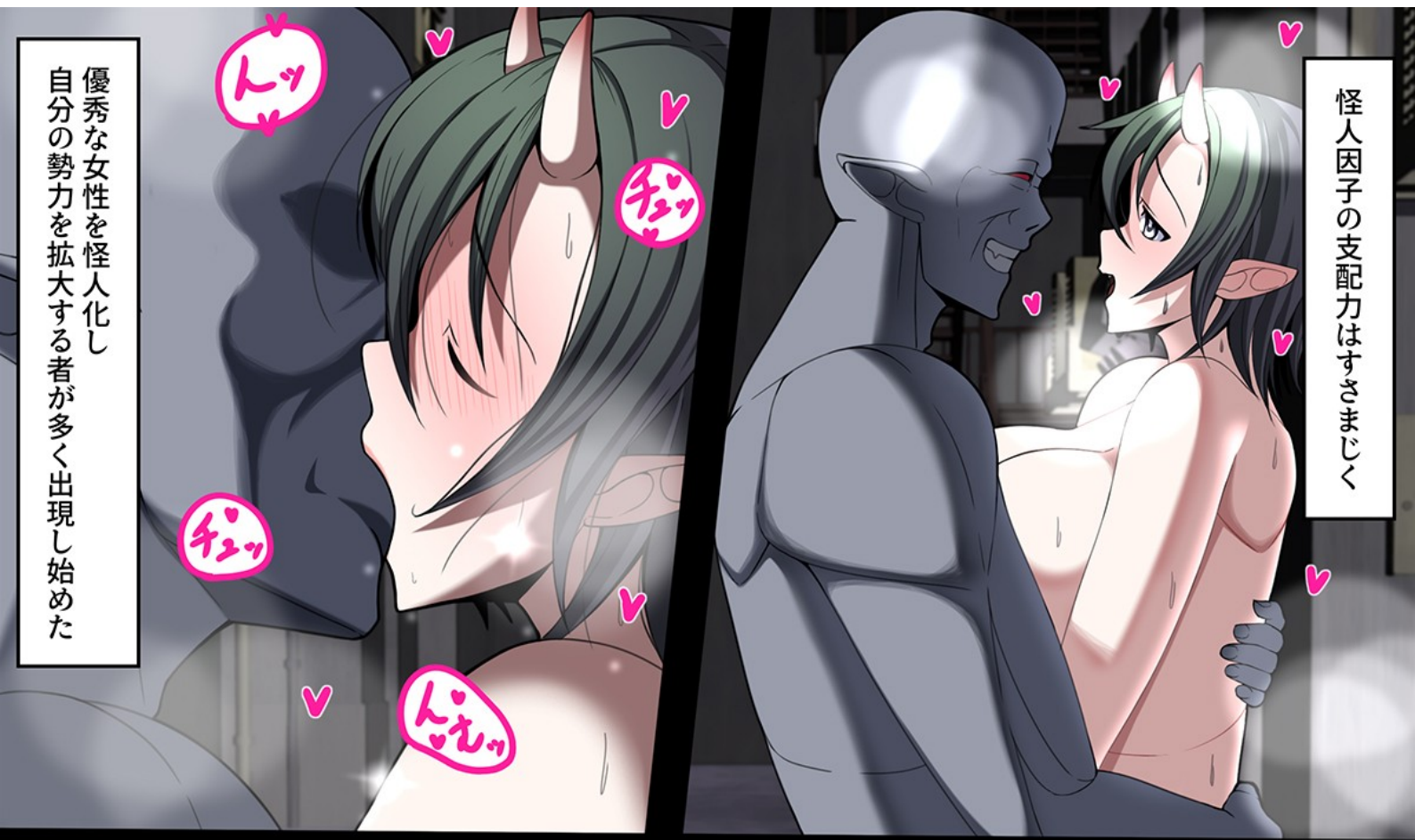
ドクーン

短時間で人間を怪人化させる。



怪人因子の支配力はすさまじく

優秀な女性を怪人化し
自分の勢力を拡大する者が多く出現し始めた



増え続ける女性怪人化事件

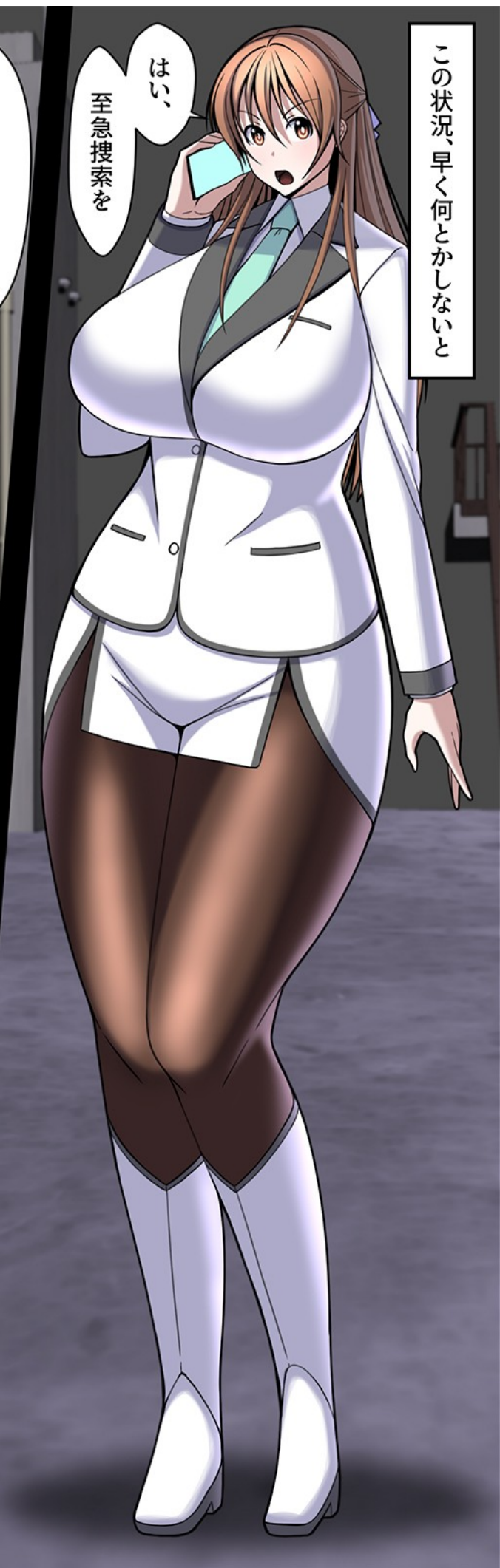
しかし、今のところ治療法も改善策もない…





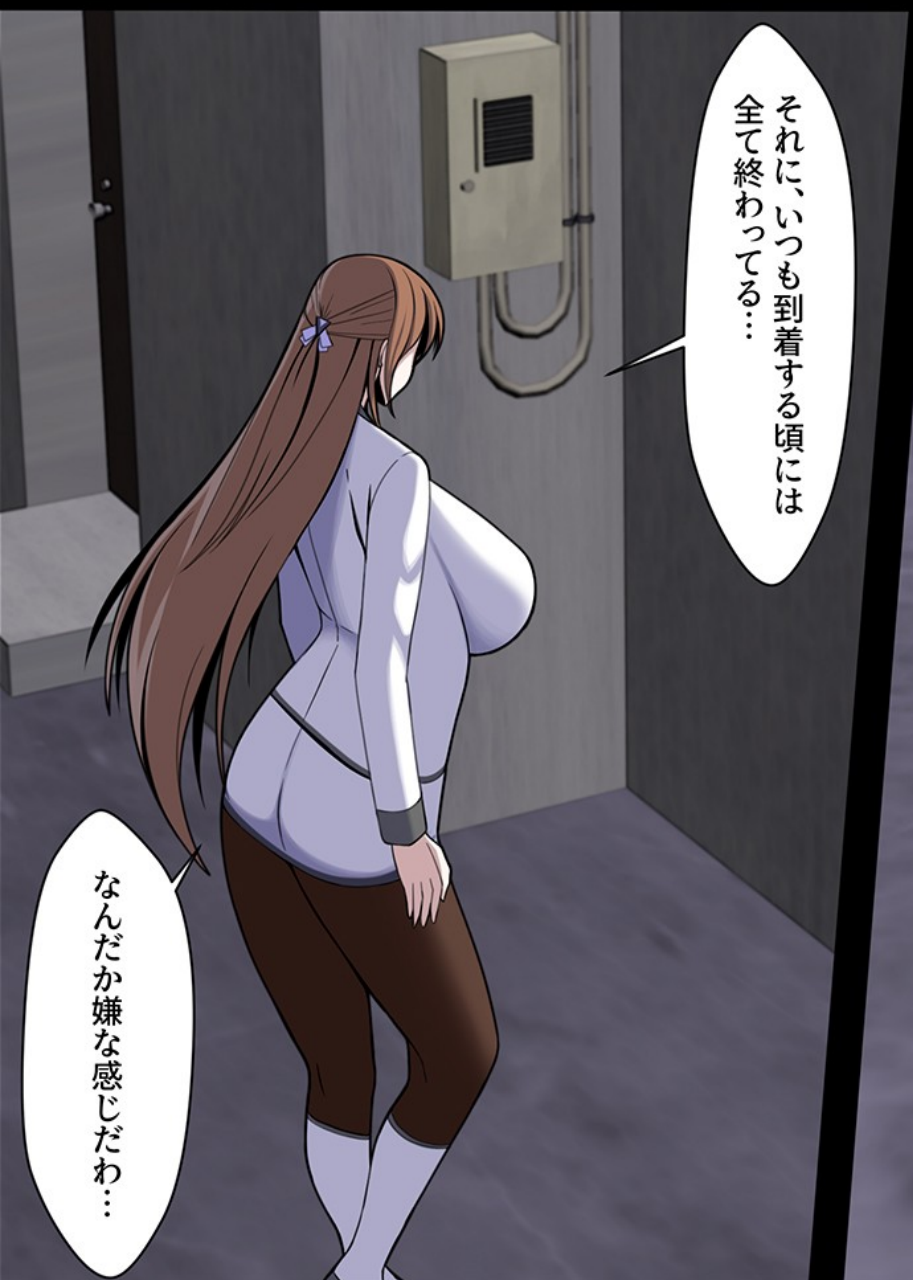
怪人絡みの事件が多すぎるのよね…

とはいえ、さすがに手が回らないわ



この状況、早く何とかしないと

はい、至急搜索を



それに、いつも到着する頃には全て終わってる…

なんだか嫌な感じだわ…



っ最悪！

早く離れないとっ！



うっ…

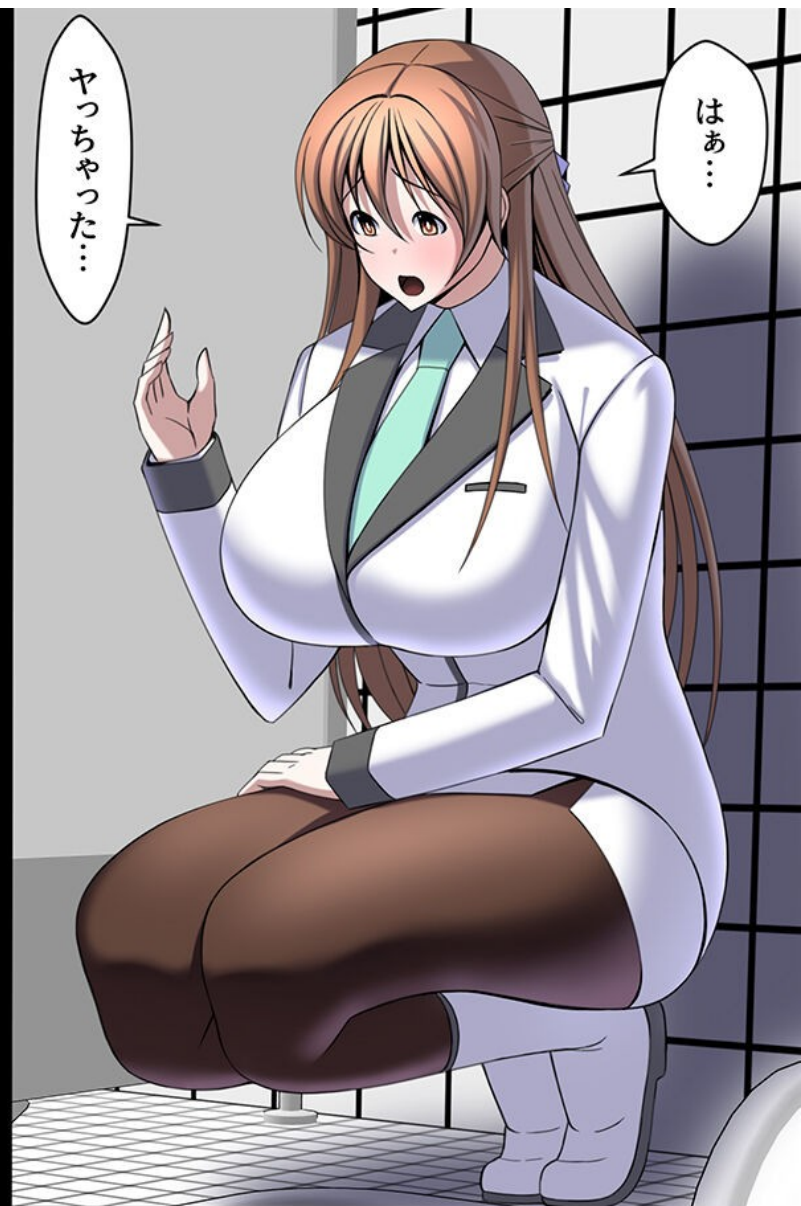
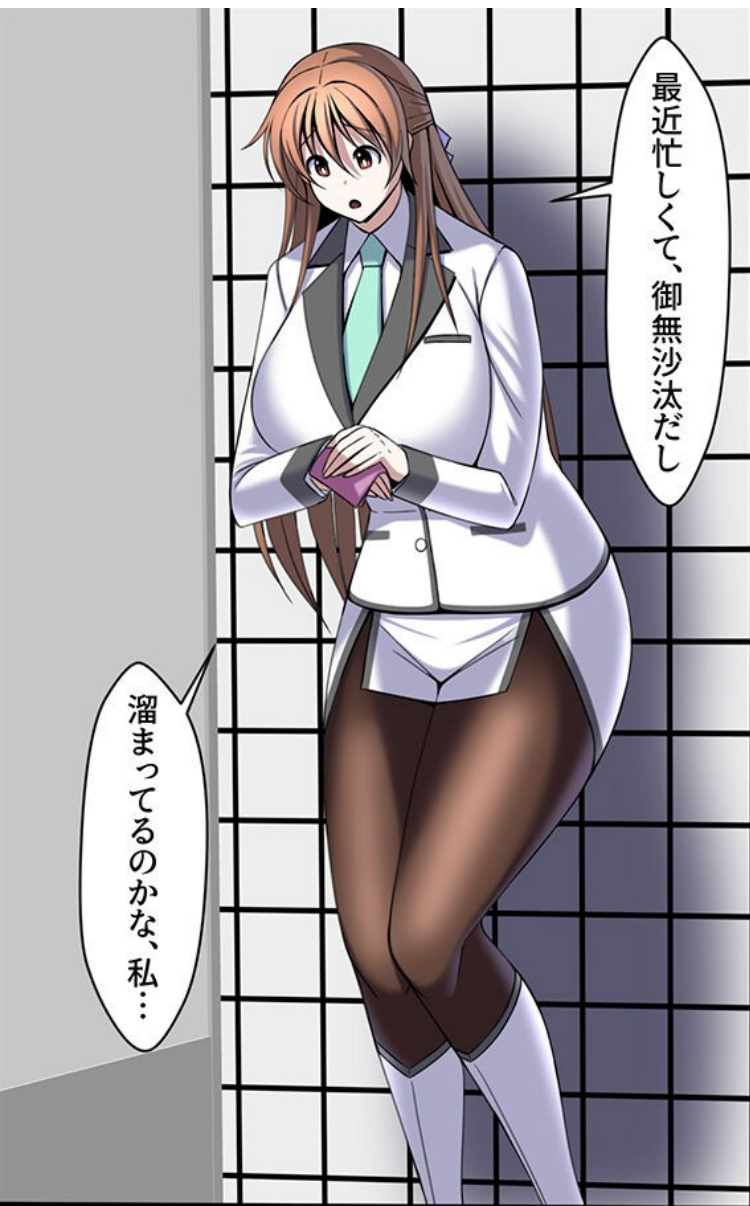
まだ雄怪人の因子が
残ってる…

モワッ



はあっ、はあっ
嘘でしょ…

少ししか吸い込んでない筈なのに
脚が…身体に力が…



警視庁 怪人対策室





落ち着いて。
私もフォローするから

すみません
先輩…



あっ!

ほらそこ、別の部隊とブッキングしてるわ
警告をよく見て。



きゃっ!

ちょっと待ってミサキっ
危ないからっ!

とはいえ、

ちょっと頑張りすぎではありませんかな?

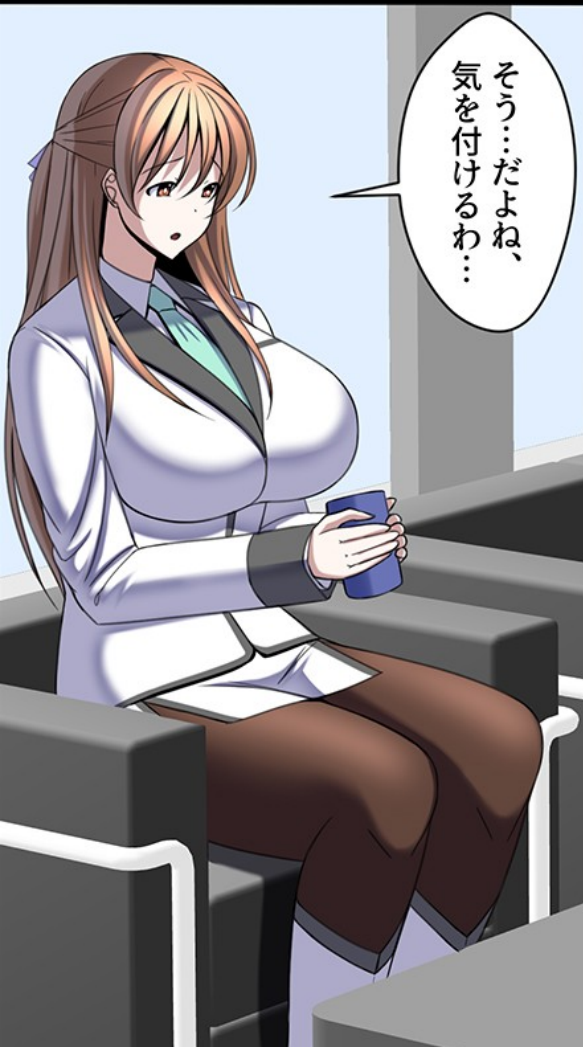
いやあ、精が出ますな

転職決まって不安なのは分かるけどさ

さすがに、あのペースで仕事こなせる人間
アンタくらいじゃないんだから。

もうちょっと自分が「優秀」だつて認識を
持って対応してあげないと

後任ちゃんがテンパっちゃうよ？





配属先が配属先だしね、
気持ちはわかるわ。

「怪人保護課」って…そりゃ女性型は殆ど元人間だし
保護するのは分かるけど…

さすがに怖いわよねえ

うーん。

なんかイヤラシイ感じだけど、
不思議なことに配属された女性隊員から不満は聞かないのよね。

噂では容姿や家柄なんかも選考基準に入ってるとか

話によると、トップが変わってから
優秀な隊員を引き抜きまくってるらしいわよ

しかも全員女性だって。



案外皆、その新しいトップとやらに
絆されちゃってたりしてね

アンタも気を付けなさいよ？
人一倍性欲強いんだからあ

ちよっ！冗談じゃないわよ！

私、身持ちは固いんだからねっ！
彼以外には、心も身体も許しませんっ！



ちゃんと分かってるわ

私だって
怪人化なんてしたくないもの



冗談よ、とはいえ
アンタも良家のお嬢様なんだから

こんな世の中なんだし
ちゃんと気を付けないとだめよ？

彼とのことも…ね



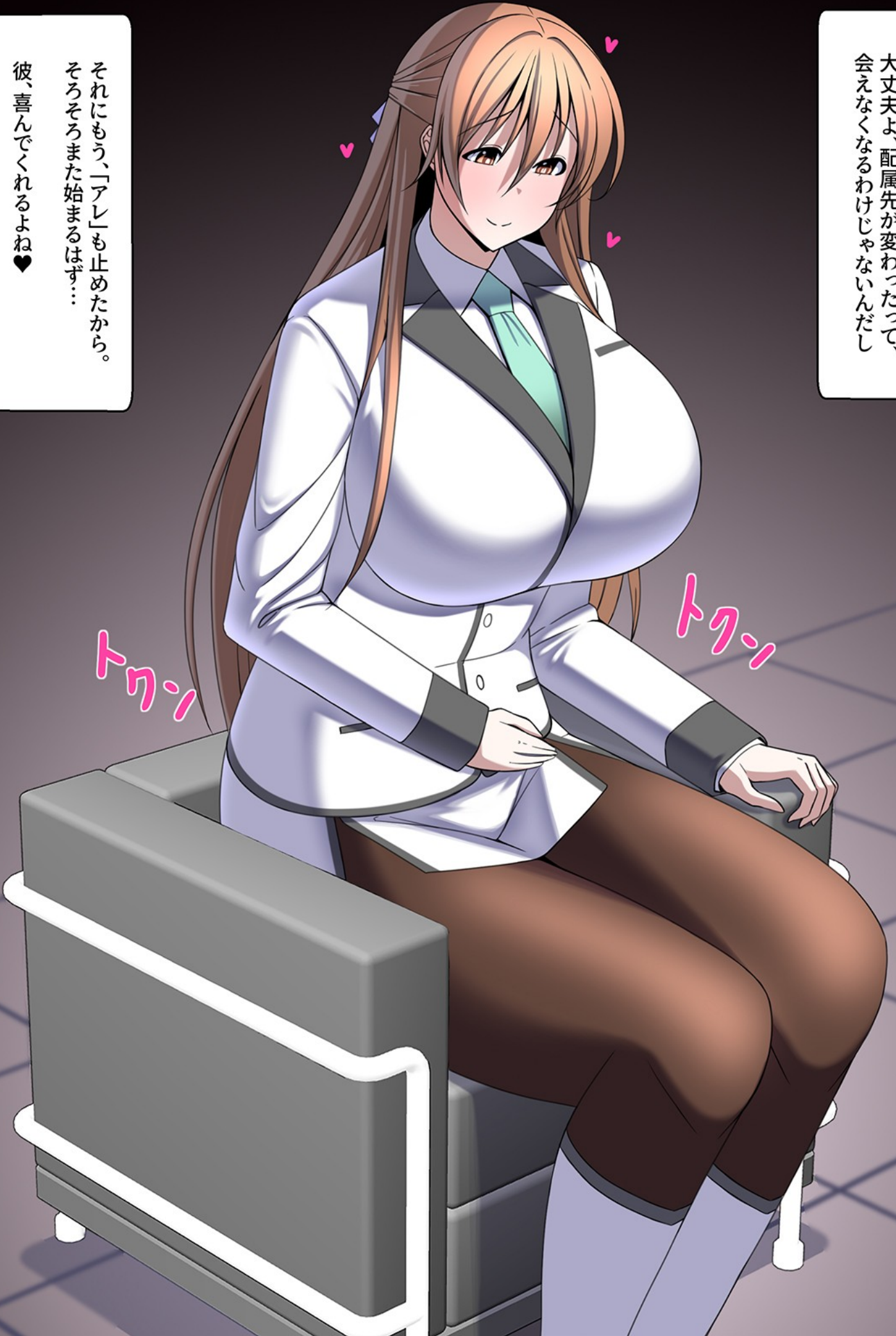
だといんだけどね

大丈夫よ、配属先が変わったって、
会えなくなるわけじゃないんだし

それにもう、「アレ」も止めたから。
そろそろまた始まるはず…
彼、喜んでくれるよね♥

トクン

トクン



ねえ悟アツ

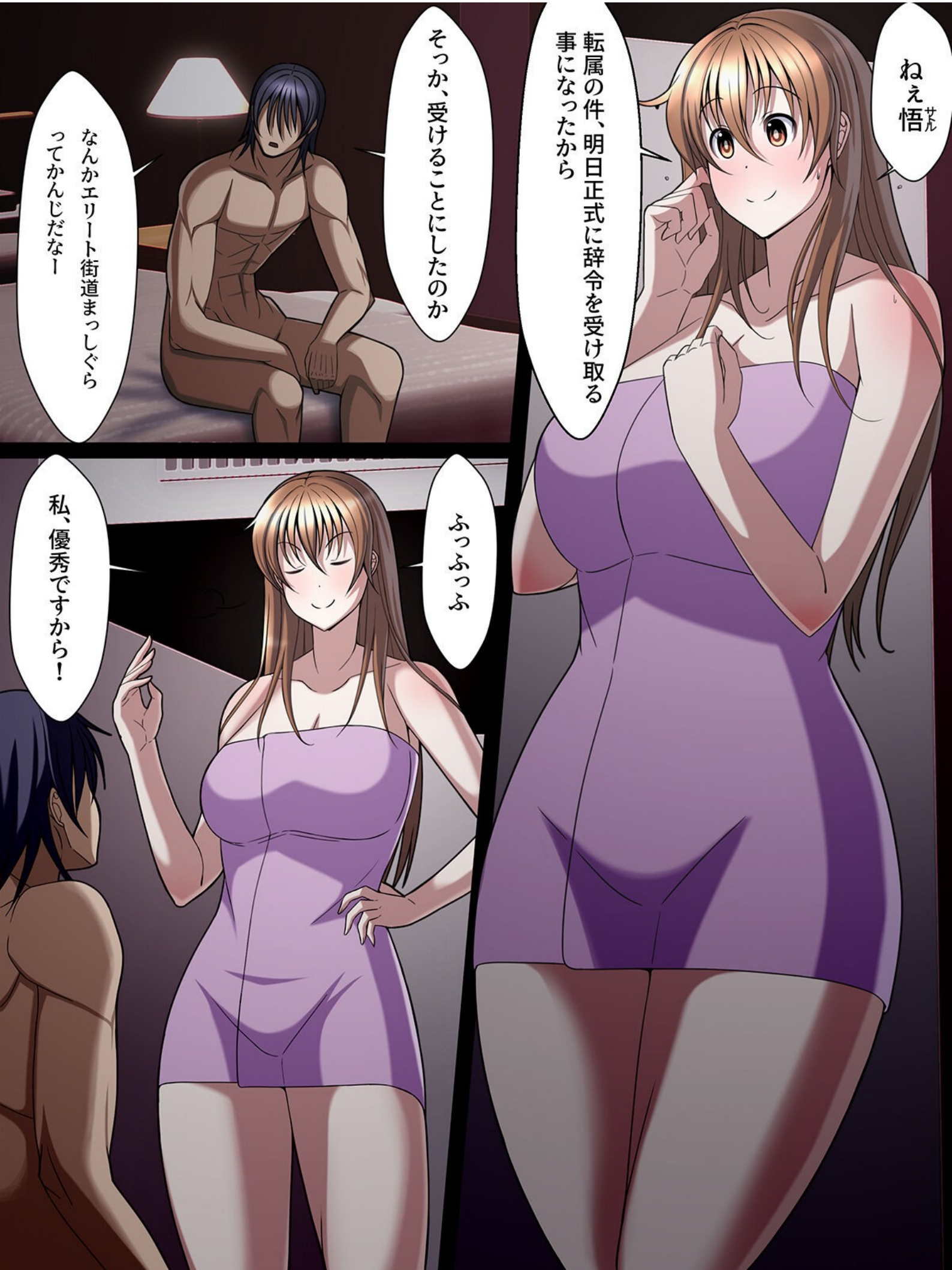
転属の件、明日正式に辞令を受け取る
事になったから


そっか、受けることにしたのか

なんかエリート街道まっしぐら
ってかんじだなー

ふっふっふ

私、優秀ですから！






まあ、その…気を付けろよ？
あそこのトップは…

心配してくれてるんだ？
まあ、容姿も選考基準に入ってるって話だし

色々心配よね、特に私は局長の好みドストライクらしわよ？



俺は本気で心配してっ！

分かってる、
何かあったらすぐ連絡するし
すぐ辞める。

私もちゃんと考えてるから



そのためにはもっと力が必要なの
実績が必要なの

アリサ
有紗…



お願い、私を信じて…

これは貴方と私の為でもあるの
私はあなたとの事を
西園寺家に認めさせたい



だっ、だから、今夜はっ



私、欲張りだから

全部欲張る事に決めたの



アリサ…ッ
そんなこと言われたら俺っ！

ビクッ
ム
ム
ビクッ



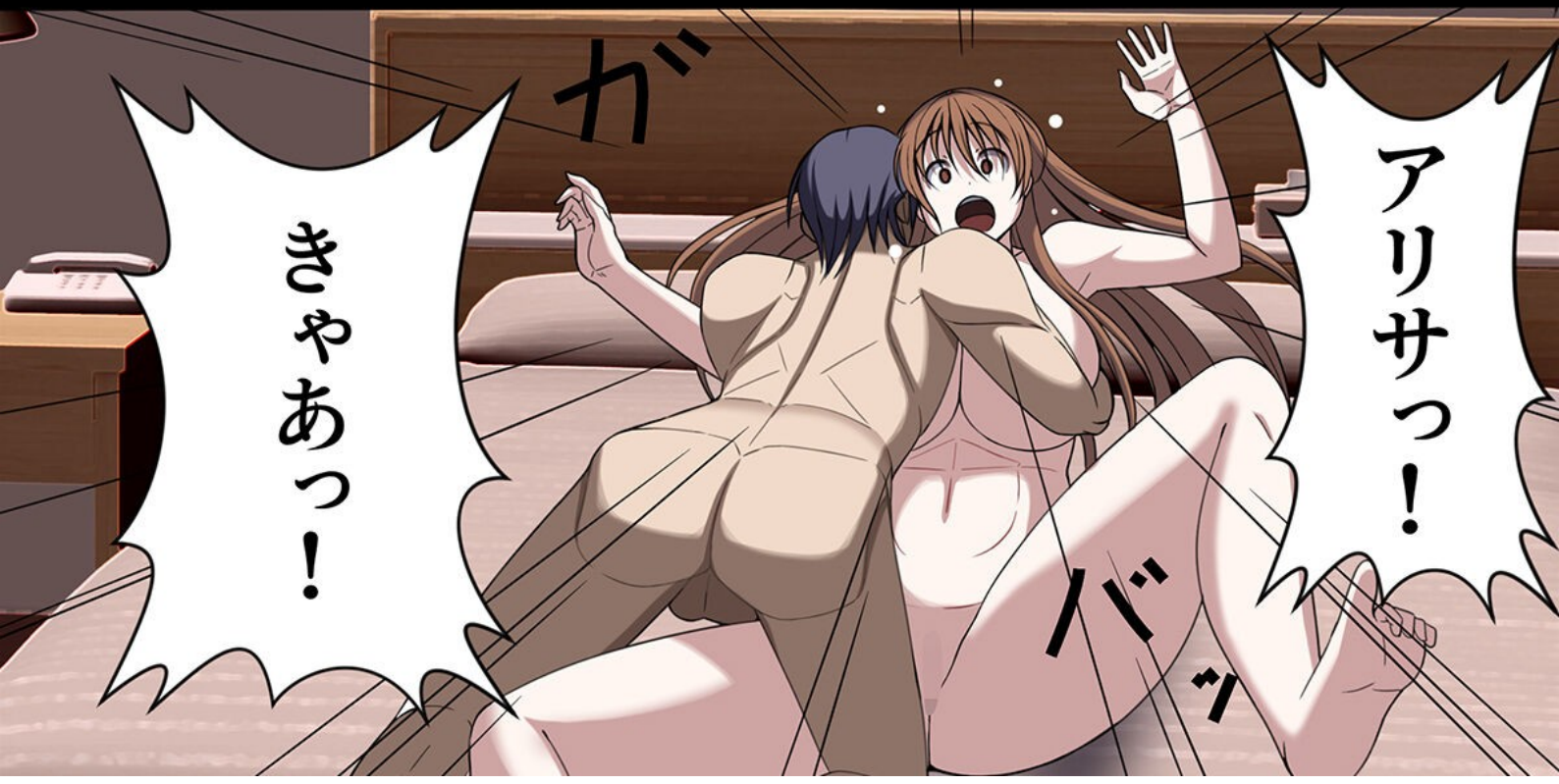
貴方の愛が

沢山欲しいな♡

フ…

タプッ

タプッ



アリサっ！

きゃあっ！

ガ

バクッ





もう来て♡私のナカに熱いの入れてえ♡

サトルう、私 もう我慢できないかも♡

ハッ

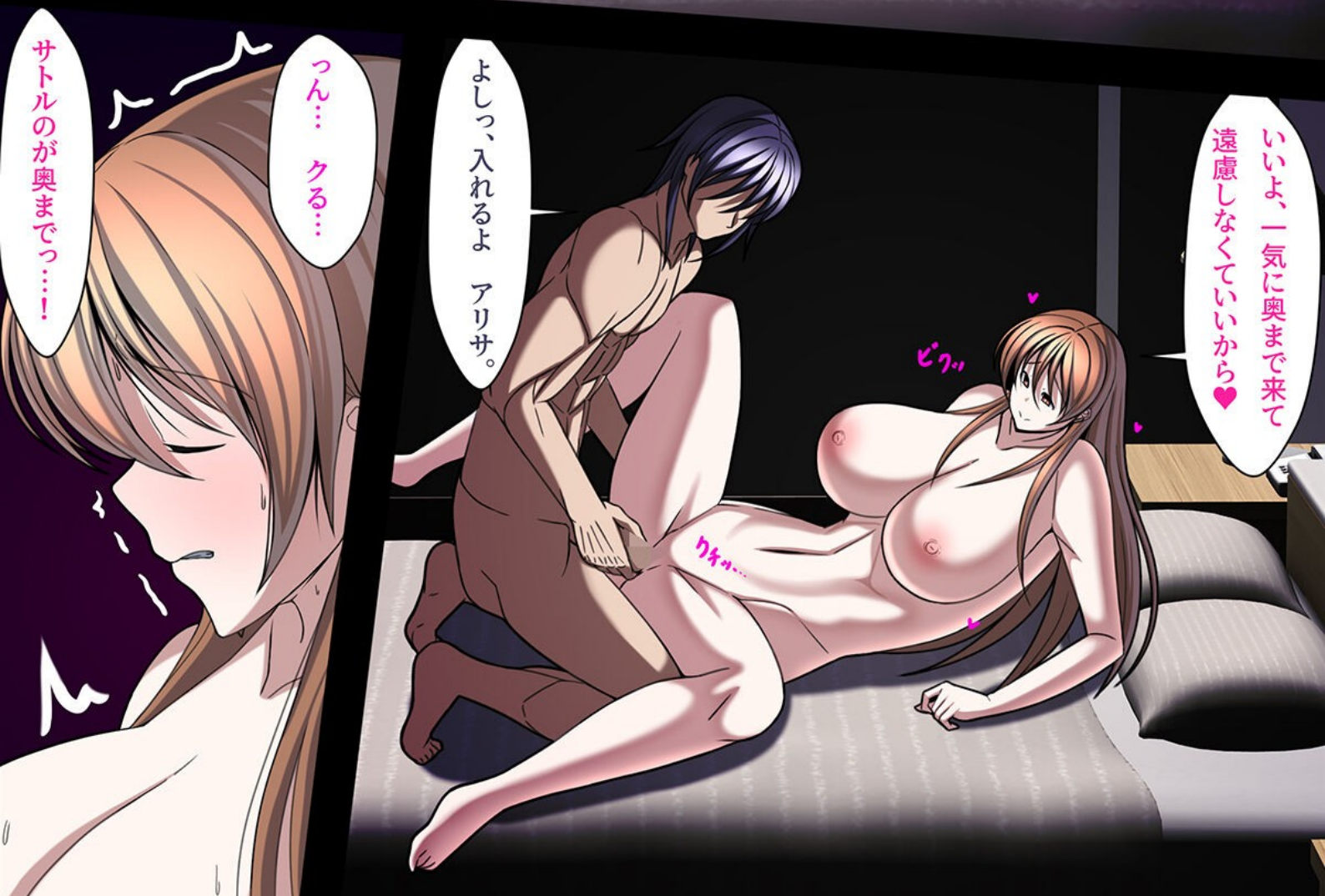
ハッ

ハッ

ハッ

モワッ

カパマ♡



サトルのが奥までっ...!!

っん... くる...

よしっ、入れるよ アリサ。

いいよ、一気に奥まで来て遠慮しなくていいから♡

びく...

りか...



アリスっ!やばいっ!
いじもぢりぢりねって、吸付ててくもっ!...

あんっ♥ああああん♥
イイよサトルっ!もっとうっ!もっとうっ!もっとうっ!



くうっ!いれたばっかなのにっ...
もっやばいっ!

私、今日はスゴいんだから♥
ぜっんぶ搾り取ってあげるわ♥

どっぢりぢりもぢりぢりっ
違うでしょ?

逃がさないわよおっ♥



サトルのセーシ♥

我慢しないで、ね？
ナカに全部頂戴♥



ぐっ！
まだ大丈夫だっ！

出そうなの？
いいよ全部ぴゅっぴゅしよ？



ほら、手伝ってあげるから♥

ちょっと刺激強いかもだけど♥

ピクッ

うわっ！アリサ待てっ！
それはマジでやばいっ！

キョッ

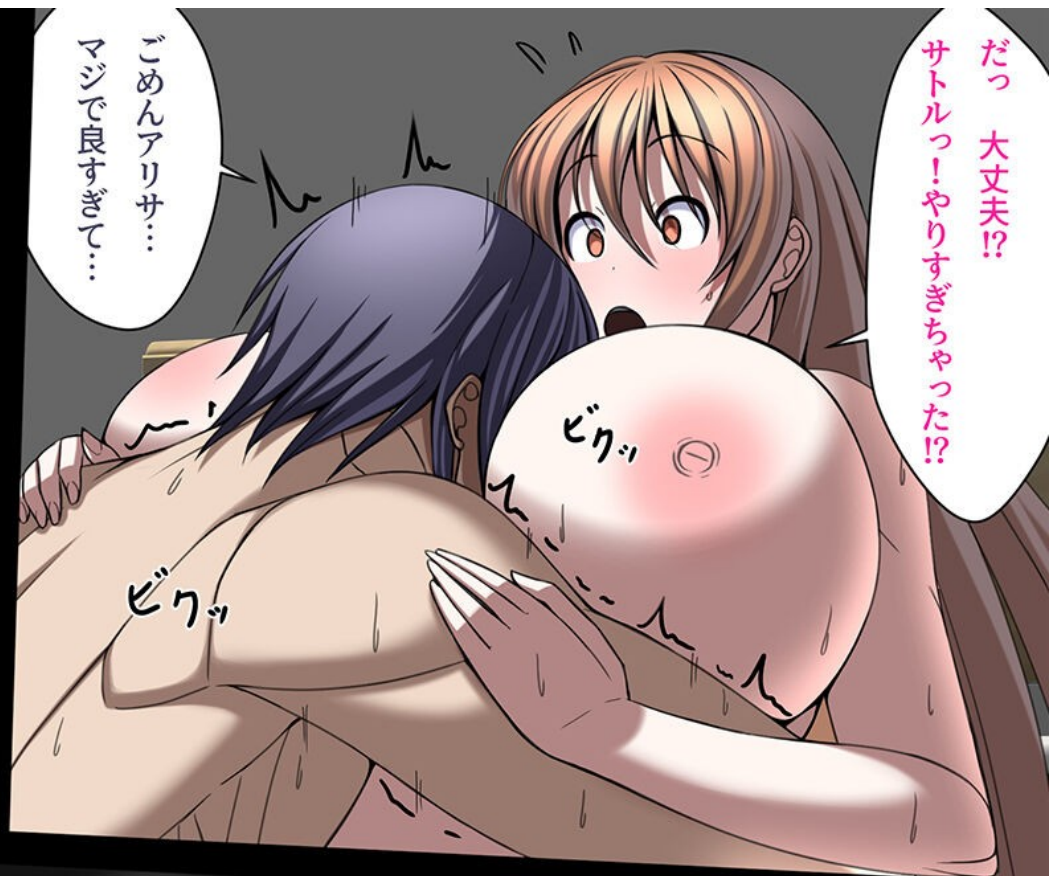
クワッ

キョッ



ドクッ

ドクッ



ごめんアリサ…
マジで良すぎてる…

だっ 大丈夫!?
サトルっ! やりすぎちゃった!?

ジクッ

ジクッ



アリサ…俺も、
愛してる…アリサ

私はいから、好きだけ出して
ほら、ぎゅってしてあげる、
愛してるわ、サトル♡

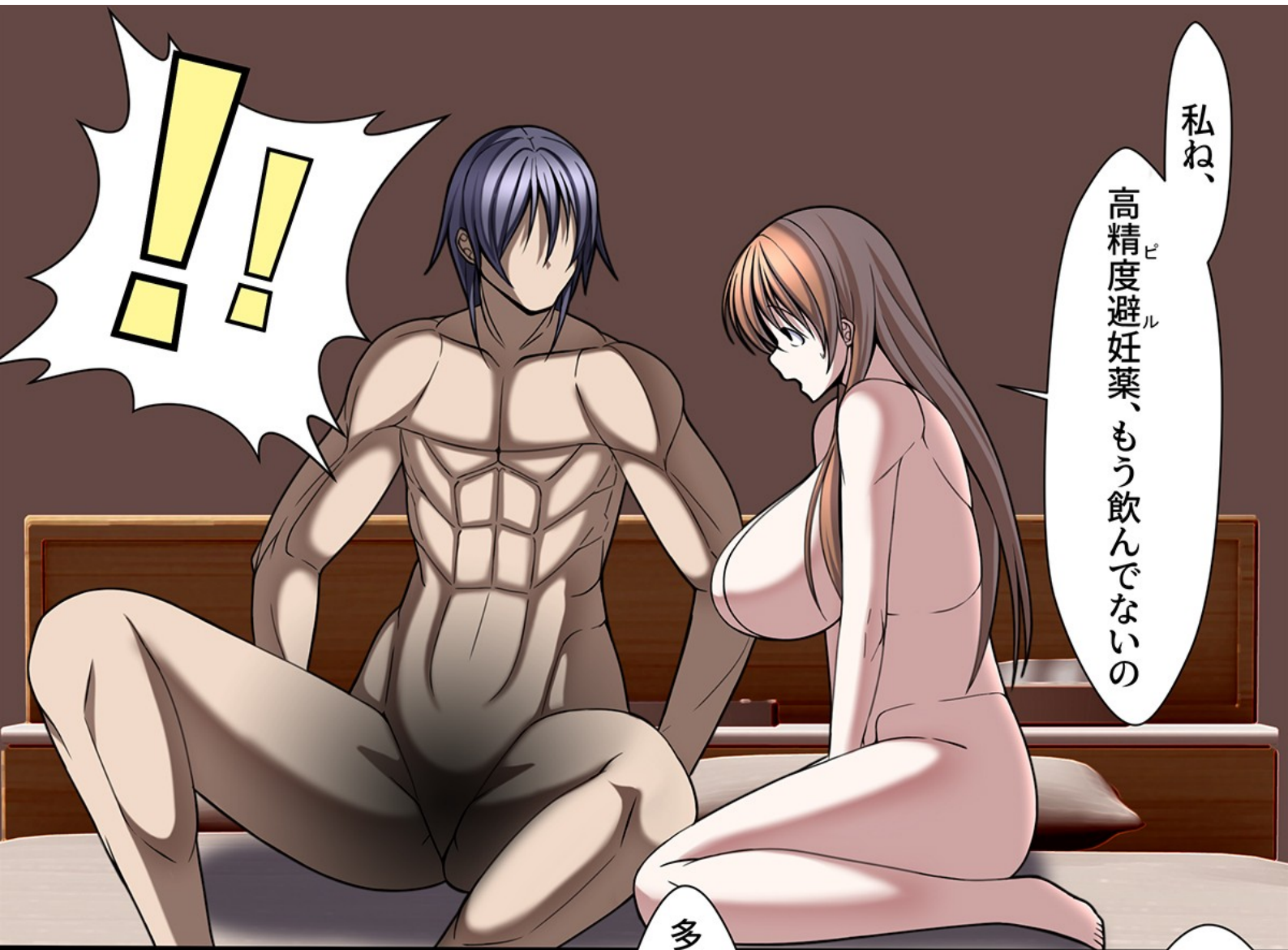
ギョッ

トクッ

トクッ

トクッ





私ね、

高精度避妊薬、もう飲んでないの

多分もうすぐアレ再開すると思う…

だから、転属先で落ち着いたら

まだ始まってないけど

私、貴方の…



お勤め申す、お礼いたします、閣下。

アリサハサイオンジの件で、ご報告がござります。



ああ、かまわんよ。
続けたまえ

ギシッ

ギシッ

アッ

アッ

アッ

アッ

ギシッ

本日、転属に関して全ての準備が整いました。

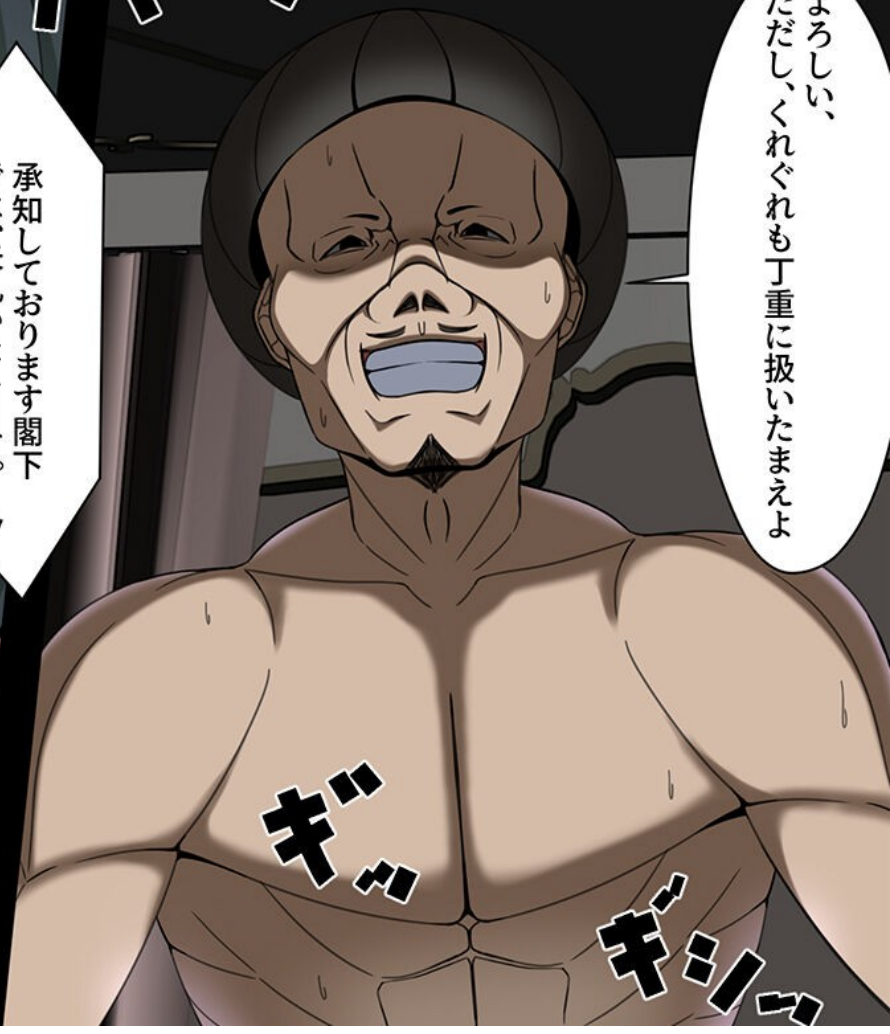


明日中に投薬を行い「儀式」の最終調整をいたします。



よろしい、ただし、くれぐれも丁重に扱いたまえよ

承知しております閣下では、失礼いたします。



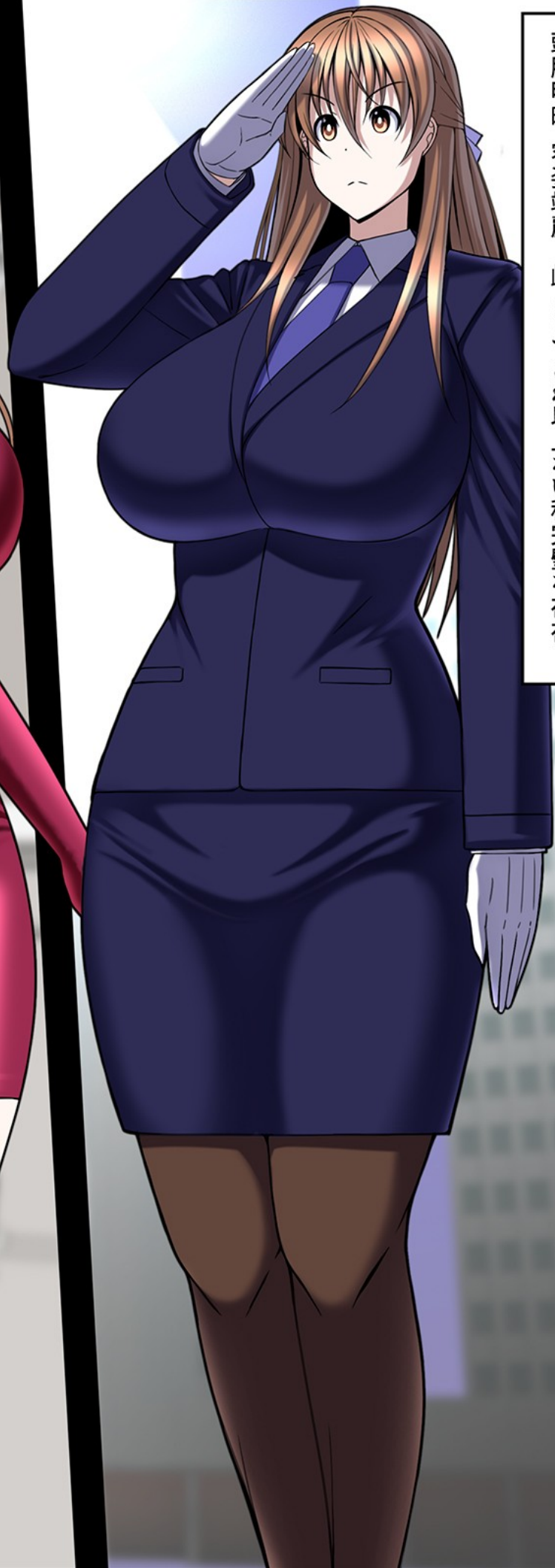


アリサIIサイオンジ、ようやく見つけた
我が妻となるにふさわしい女。

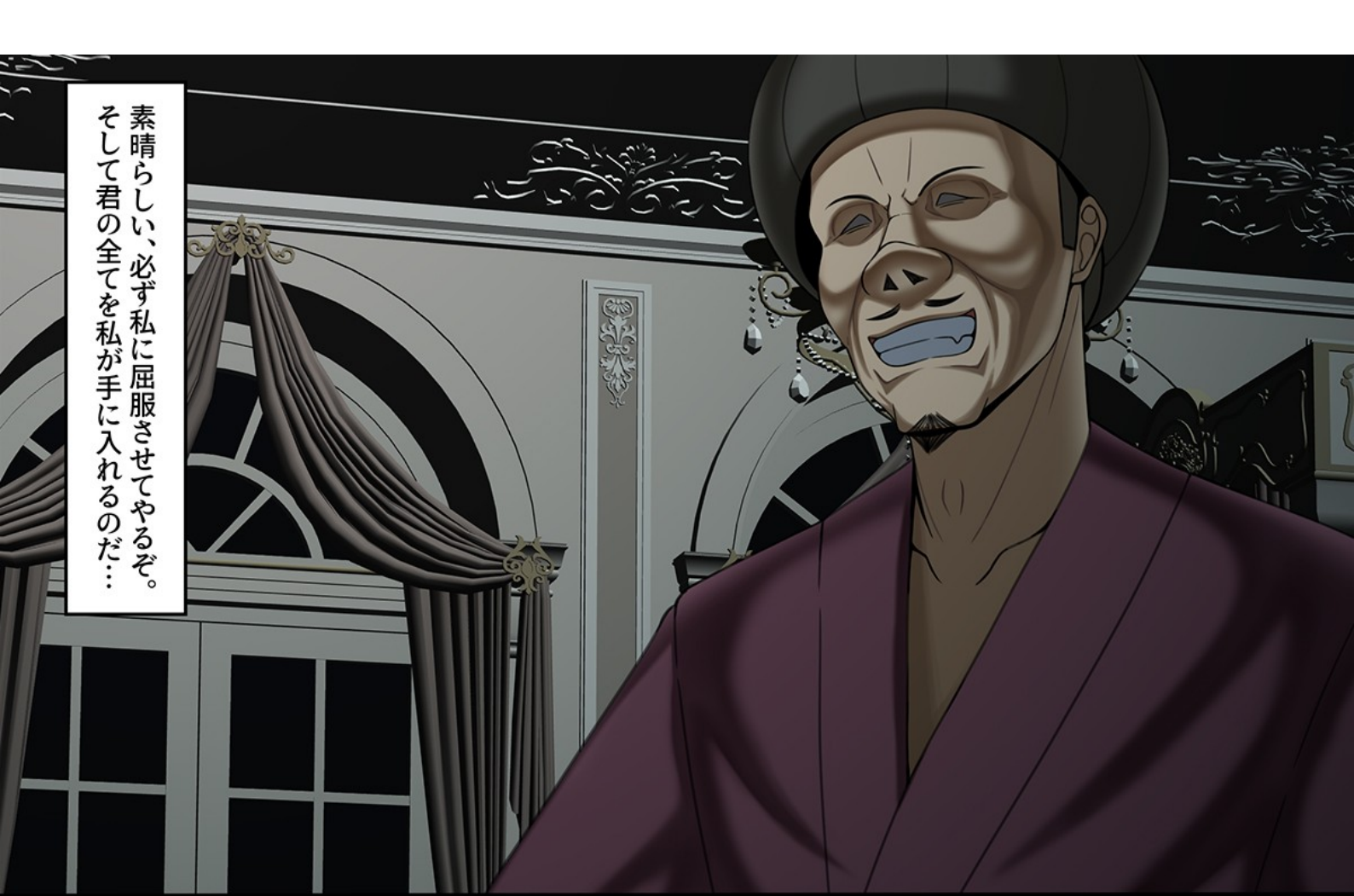


ついにこの時が来たか…

頭脳明晰、容姿端麗 雌としてこれ以上ない程完璧な存在…




そのうえ大財閥「西園寺家」の令嬢



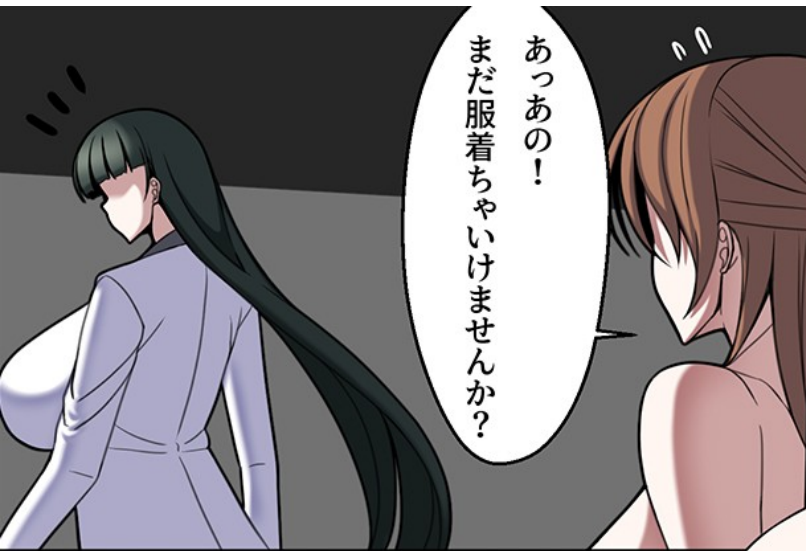
素晴らしい、必ず私に屈服させてやるぞ。
そして君の全てを私が手に入れるのだ…



嗚呼…、早くその豊満で美しい身体を味わいたい…



クックック、アリサ…君はもう私のモノだ。



あっあの！
まだ服着ちやいけませんか？

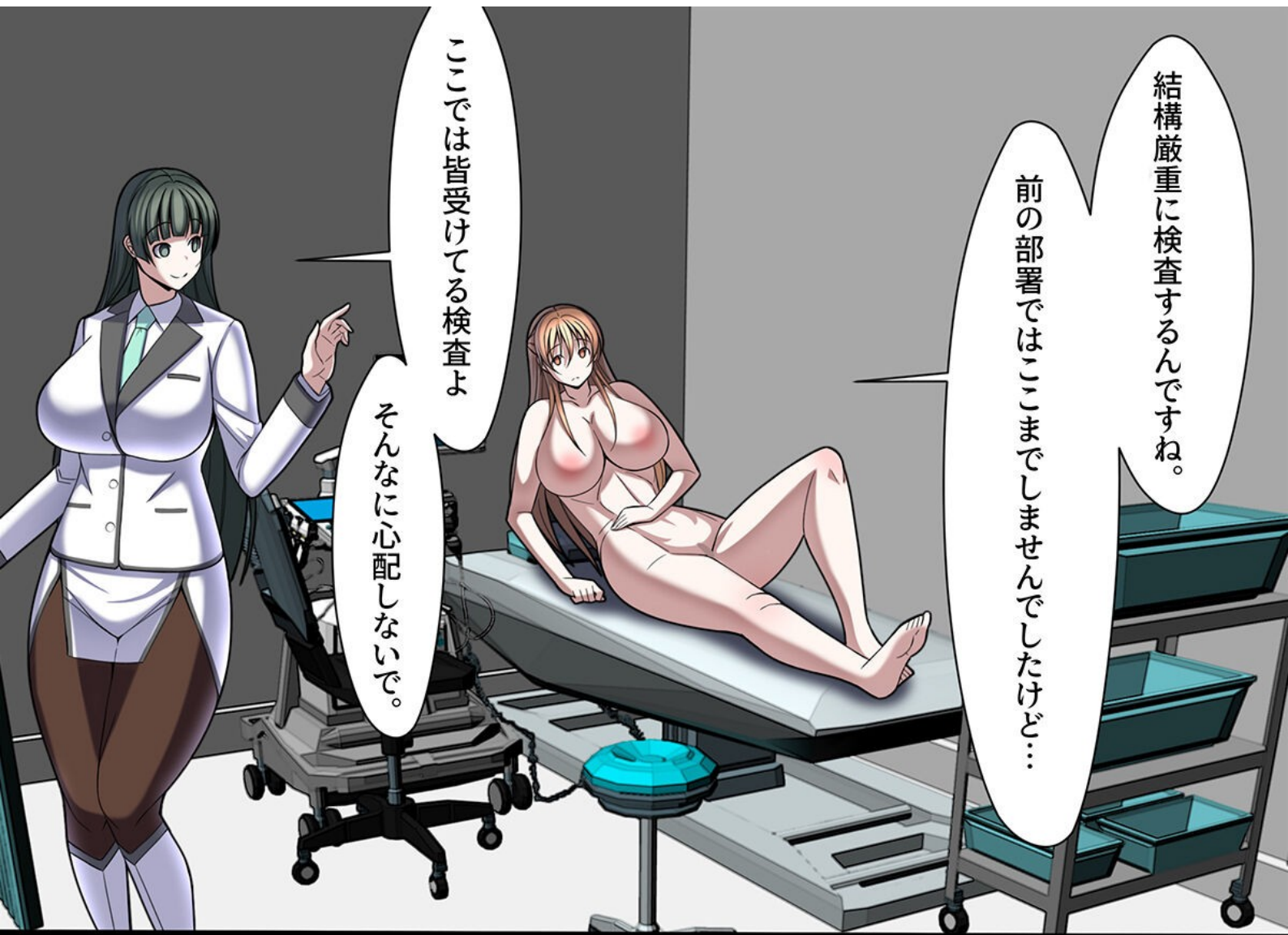


何かしら…
なんだか悪寒が…

っ！？



次の検査で最後だから
もう少し我慢してね



結構嚴重に検査するんですね。

前の部署ではここまでしませんでしたけど…

ここでは皆受けてる検査よ

そんなに心配しないで。



っ痛!?

なっなんですかそれは!?

キッ

ビクッ

特別な薬よ

この後の「儀式」のための

大丈夫、すぐに馴染むわ。



さあ、ゆっくりと横になって
しばらくおやすみなさい...

だめ...意識が...

ハア...

ハア...



儀式...?

一体何の話を...

クラァ...



うっ...サトル...私...

意識を失って……それから……？

うっ……ん

あれ……私



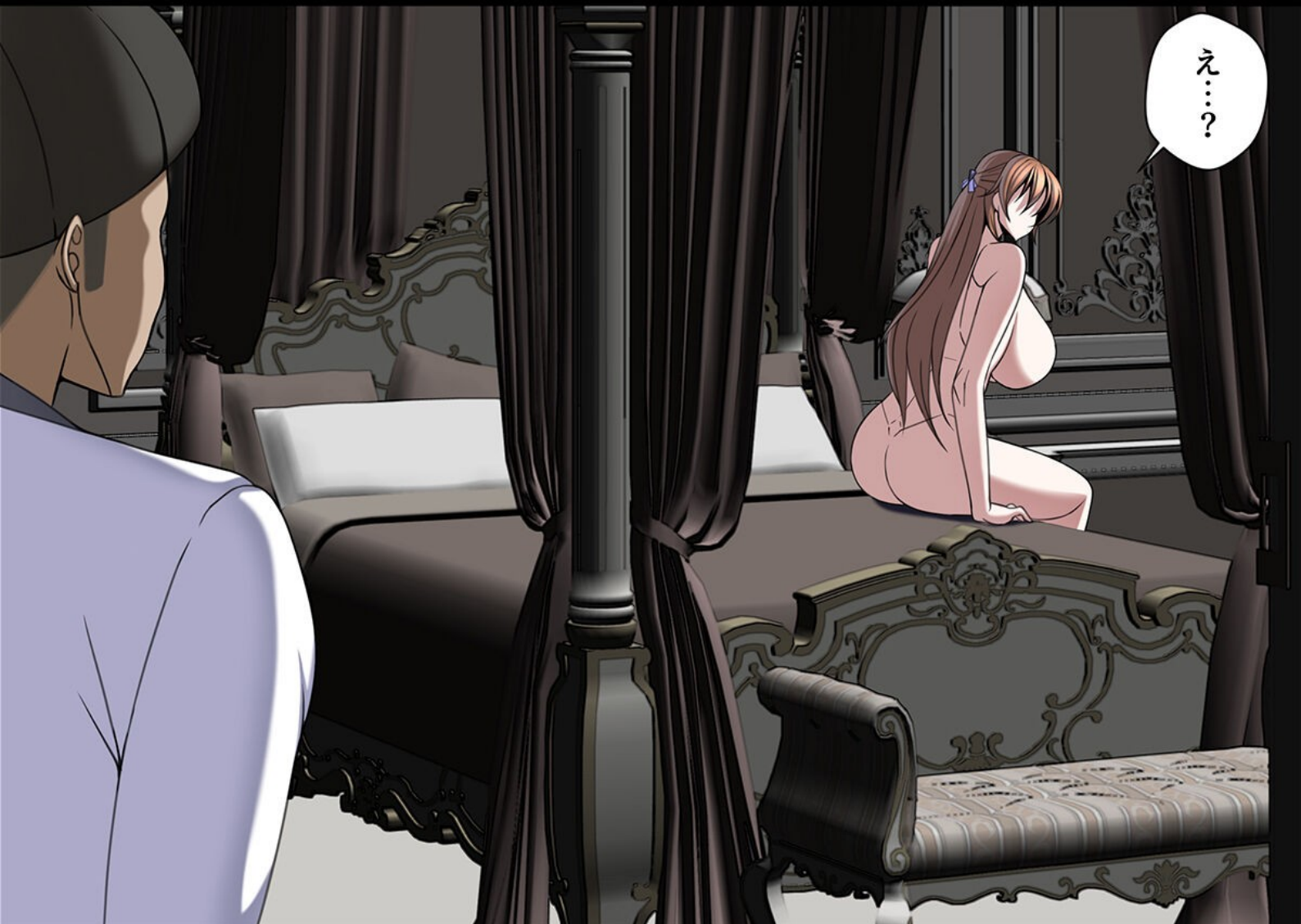


気が付いたかね？

なんだか豪華な部屋だけど…



ここ、何処なのかしら



え…？



あなたは誰なの!?
それにここは何処!?



初めまして、アリサ君

この時を心待ちにしていたよ



ははは、自分の状態より
居場所の方が心配なのかね?

タッ

タッ

えっ...



状態って…

っ!?

っや!?

いやっ!?

タプーン

タプーン

みないでえ!?

少しは自分の置かれた状況が分かったかね？

分かったなら落ち着いて話そうじゃないか。

残念だけど

アナタみたいな変態と話す事なんて何もないわ！

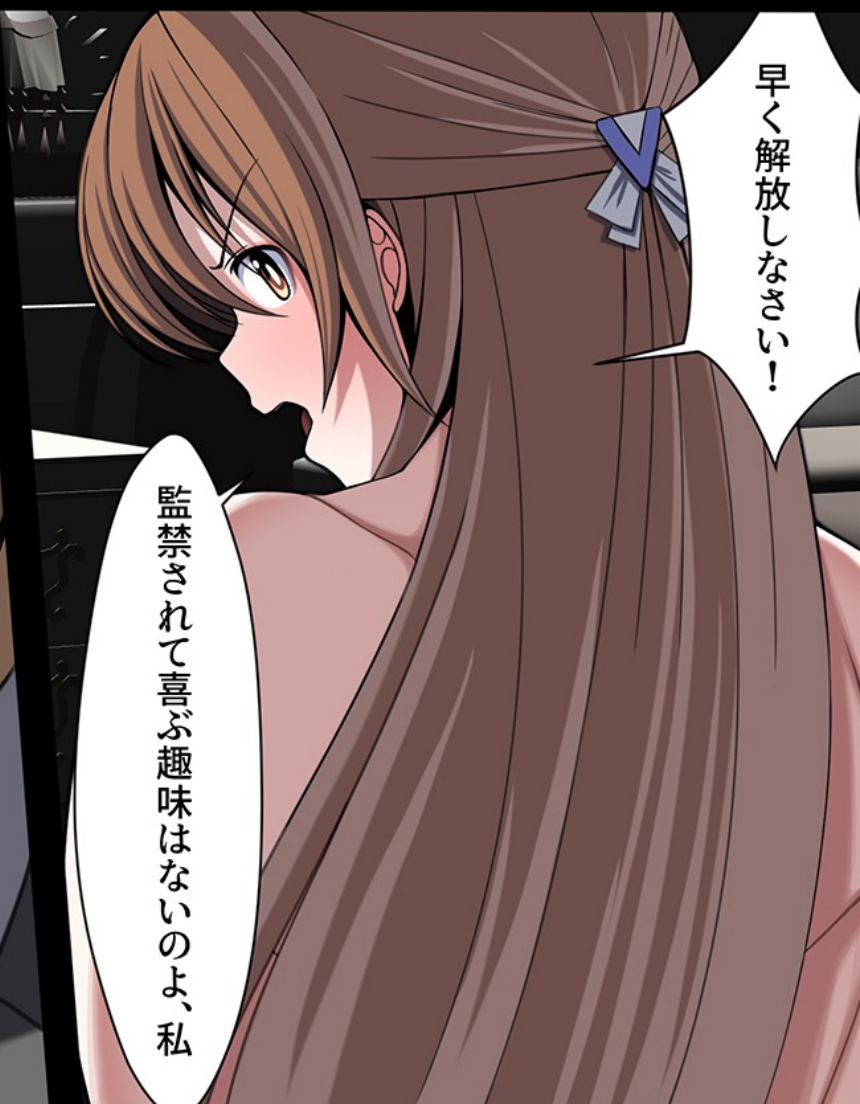


早く解放しなさい！

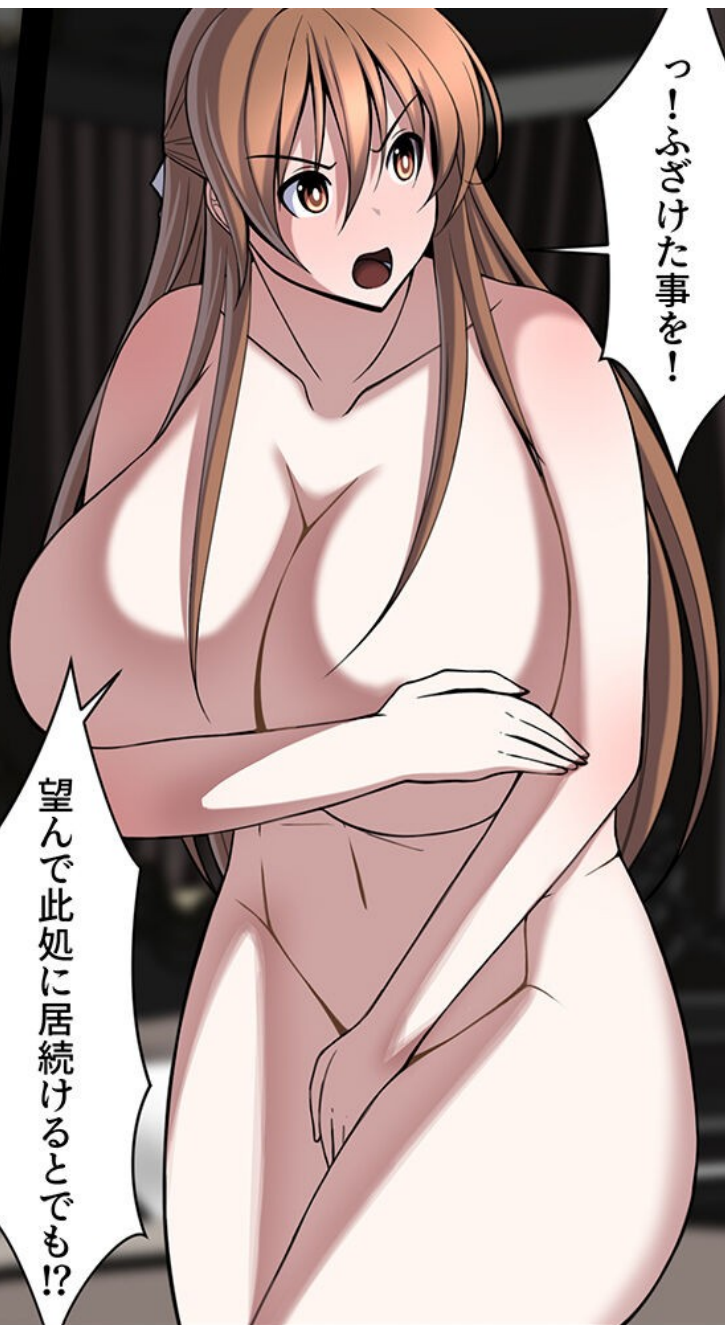
監禁されて喜ぶ趣味はないのよ、私

安心したまえ

私は自主性を重んじる男だよ



っ！ふざけた事を！



望んで此処に居続けるとでも!?

すぐにそうなる

というだけの話だよ



酷い妄想癖だわ

もう手遅れみたいね



そう：アナタが新しい責任者ね！

他の女性にもこんな事をして口封じしてるのね！

ドクッ

ドクッ

許さないわよっ！

絶対に全部悪事をあばいて…っ！





ドク
ク
ー
ー



しっかり私好みに使い込んでやるからな...

くっくっく、
因子が効いてきたか



さあ、
そろそろ仕込みを始めるぞ

つく、離さない!!

安心したまえ
優しくしてあげよう

この変態!

絶対許さないんだから!



いいぞ、その調子だ、
そうでなくては墮とし甲斐がないからな!

あんっ!

ドッパ

さあ、愛する男にお別れはすんだかね？

ハハハハハハツ!!





あ…ん…
何を言っているの…??

アッ
それじゃまるで…

ギョッ

ビクッ

ビクッ

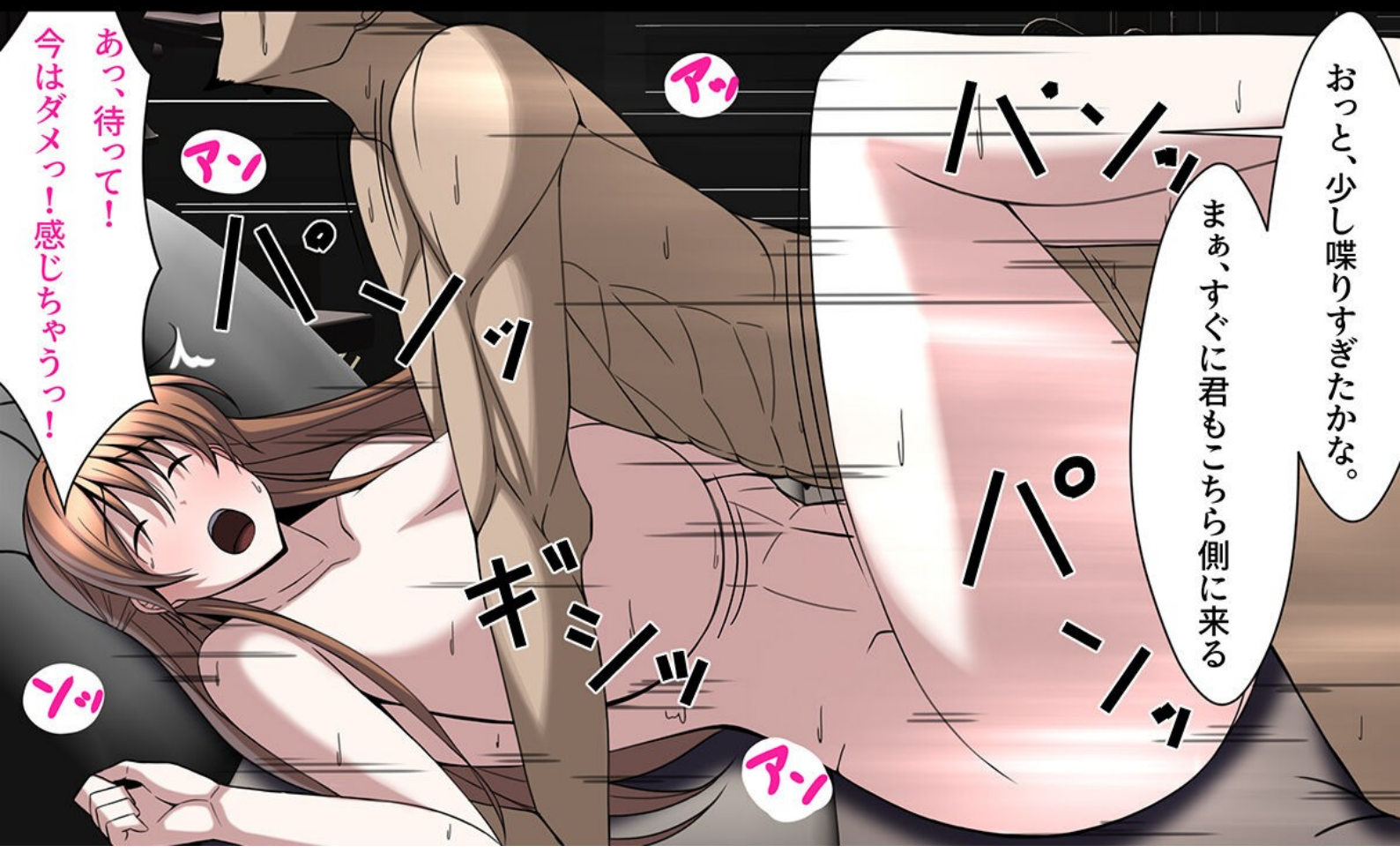
ギョッ



どうだ？
人間の雄よりよほどイイだろ？

キッ

ギョッ



あつ、待って！
今はダメっ！感じちゃうっ！

おっと、少し喋りすぎたかな。

まあ、すぐに君もこちら側に来る

バン

バン

ギョ

バン

アッ

アッ

アッ



身体が求めちゃうっ

私...どうしちゃったの...
彼との時だってこんなに...

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ピンクッ

ピンクッ

ズズズ...



さあ、アリサ

私に全てを捧げるのだ...

お前の身も心も捧げるのだ...

捧げる...身も心も...

でも...私には愛する人が...愛する人...?

ハッ

ドクッ

ハッ

ドクッ

ハッ

ドクッ



つばい！今私何考えてたのっ！

この男普通じゃない、私の身体だって...

気をしっかり持つのよっ！

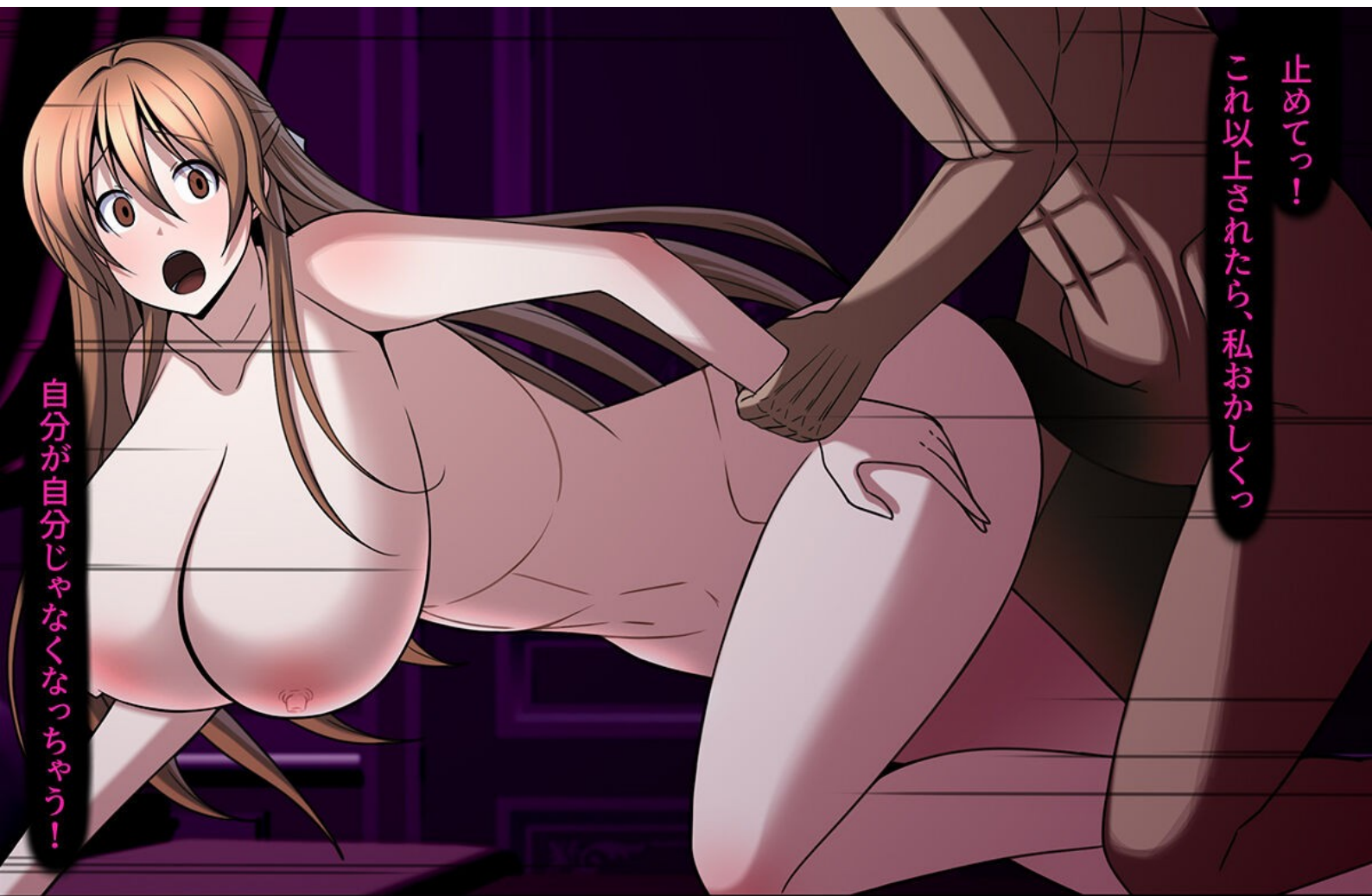


無駄だアリサ、自分の非力さを理解し

力ある雄に屈服するのだ、私に服従しろ

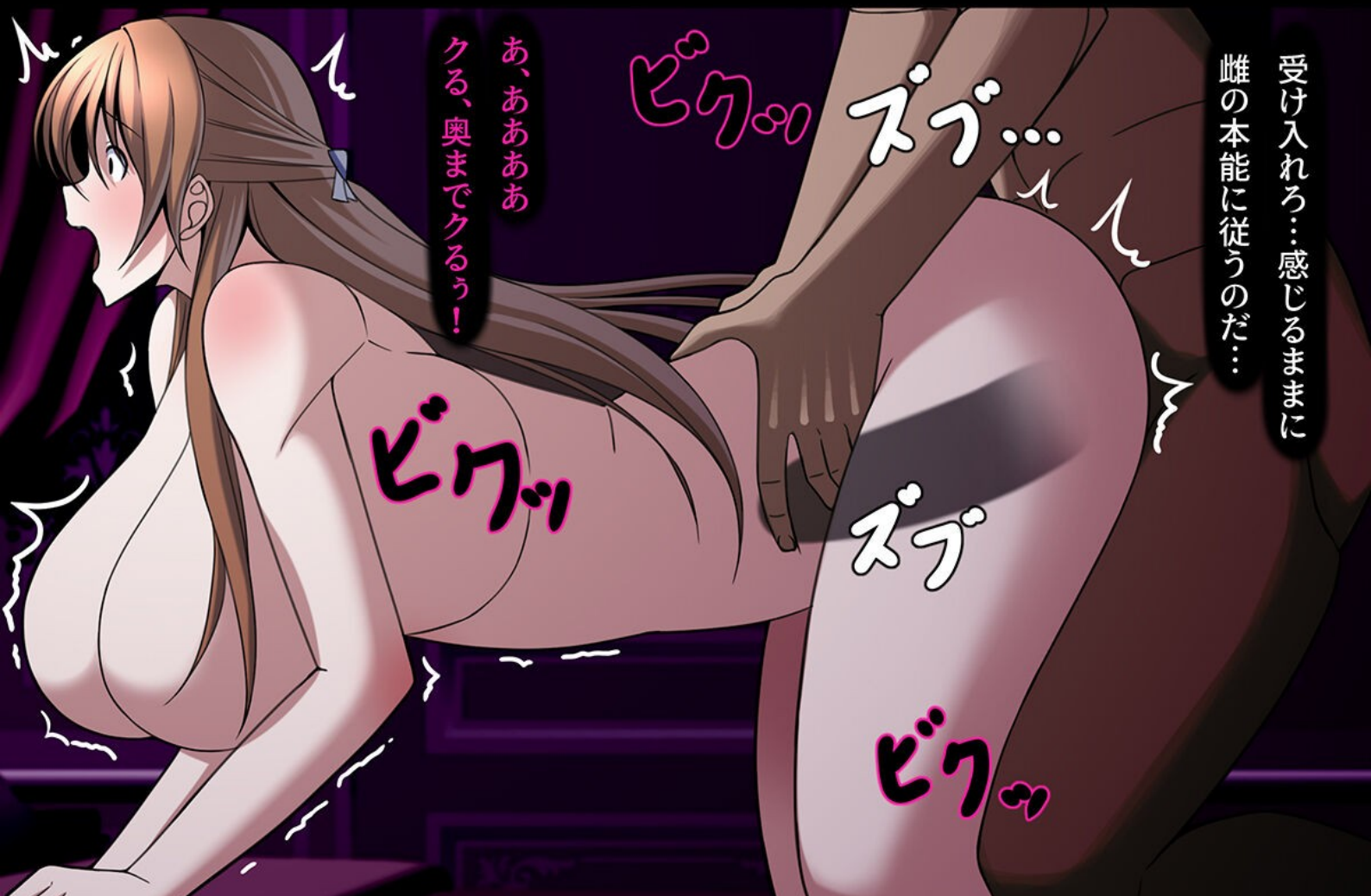
イヤっ！イヤよ！

絶対アナタなんか認めないっ！



止めてっ!
これ以上されたら、私おかしくっ

自分が自分じゃなくなっちゃう!



受け入れる…感じるままに
雌の本能に従うのだ…

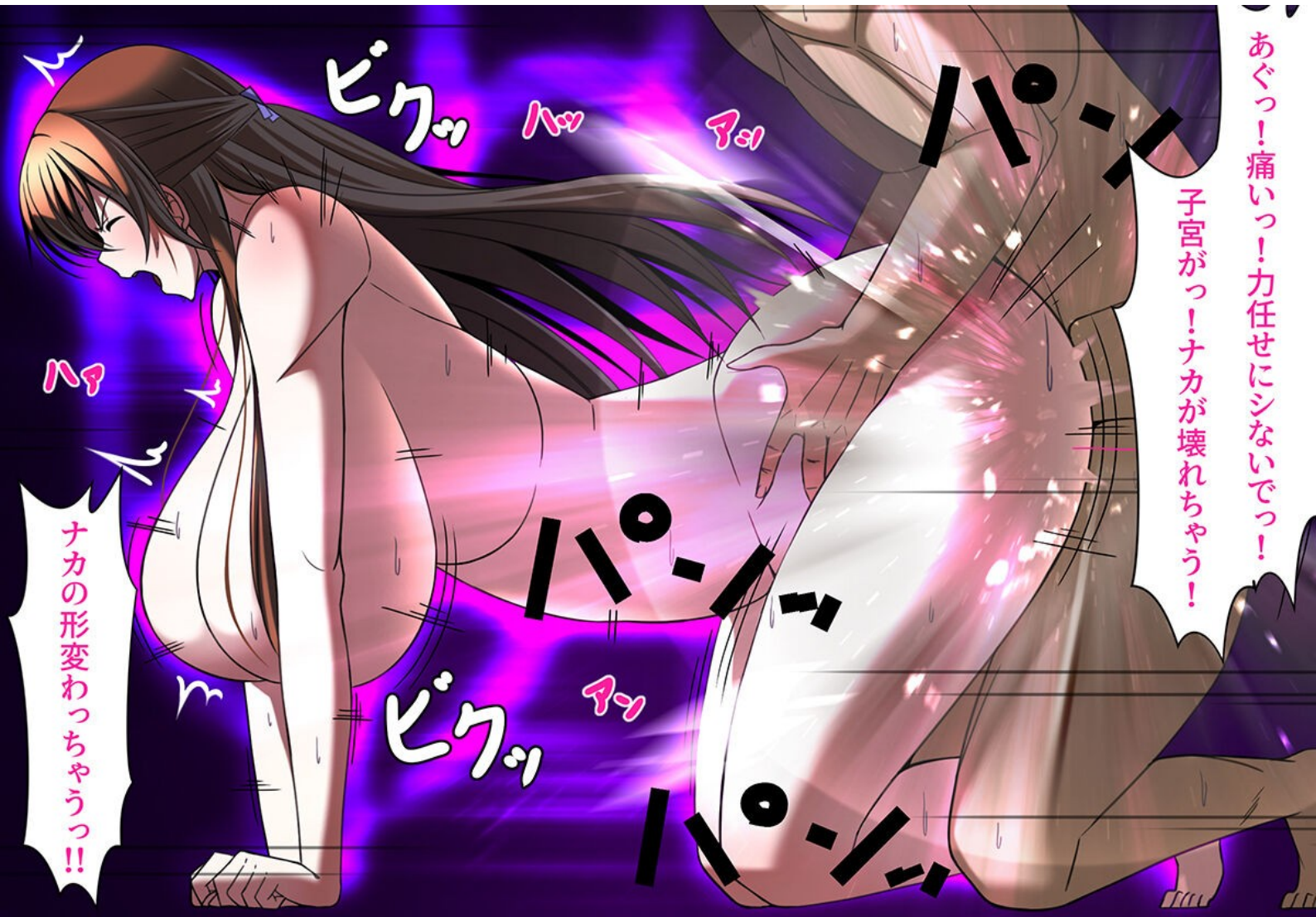
あ、ああああ
くる、奥までくるう!

ズグ…ズグ…

ズグ…

ズグ

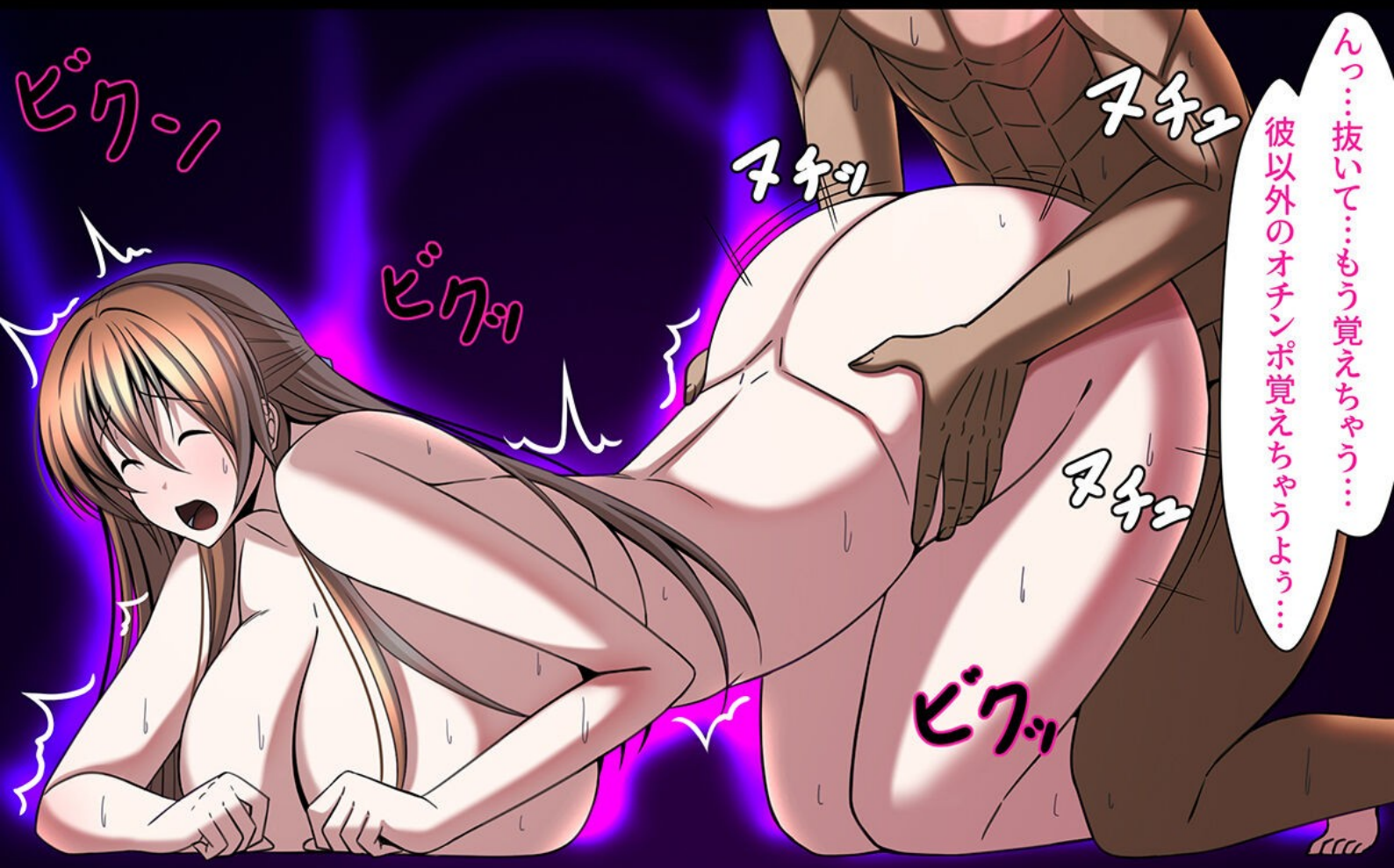
ズグ…



あぐっ！痛いっ！力任せにしないでっ！

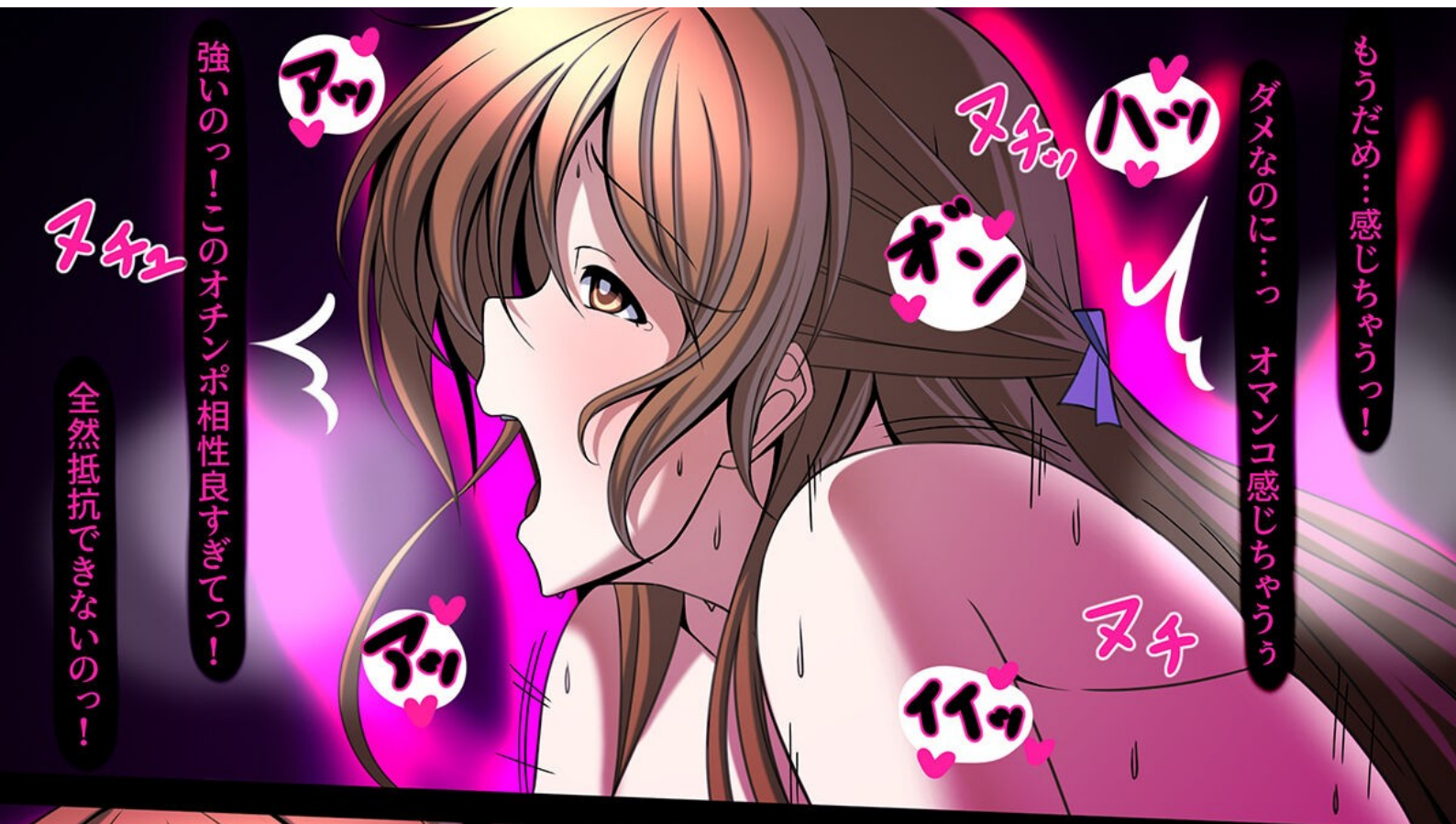
子宮がっ！ナカが壊れちゃう！

ナカの形変わっちゃうっ!!!



んっ…抜いて…もう覚えちゃう…

彼以外のオチンポ覚えちゃうよう…



もうだめ...感じちゃうっ!

ダメなのに...っ オマンコ感じちゃうっ

強いっ!このオチンポ相性良すぎてっ!

全然抵抗できないのっ!



屈服しちゃうっ!

オマンコ屈服しちゃうっ!

飛ぶっ!我慢できないっ!
ごめんなさいサトル...
もう私この人につ!

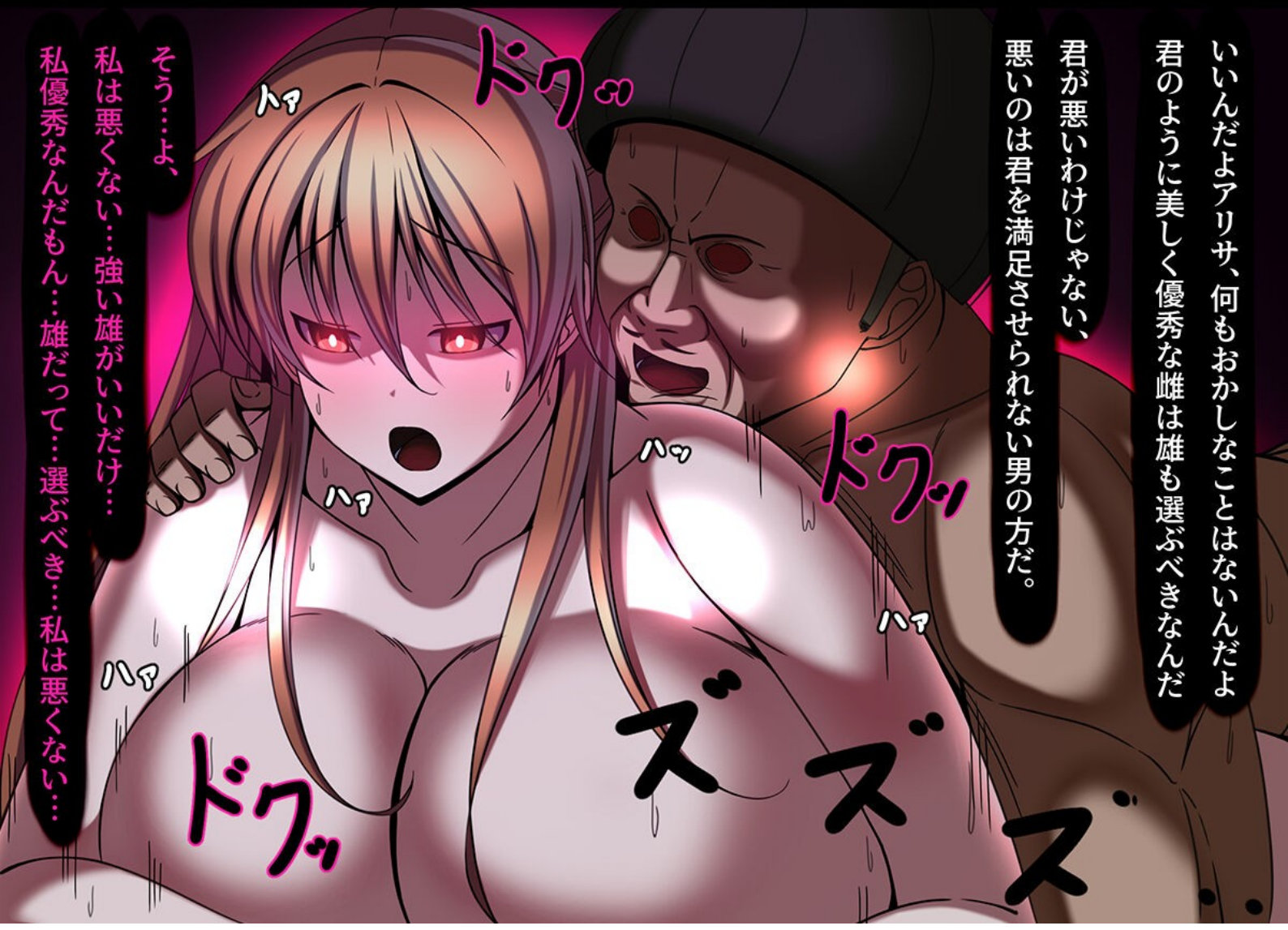
気持ちいいっ♡
オチンポ気持ちいい!!

イクッ



分かるぞアリサ
今いったな？ 屈服したな？

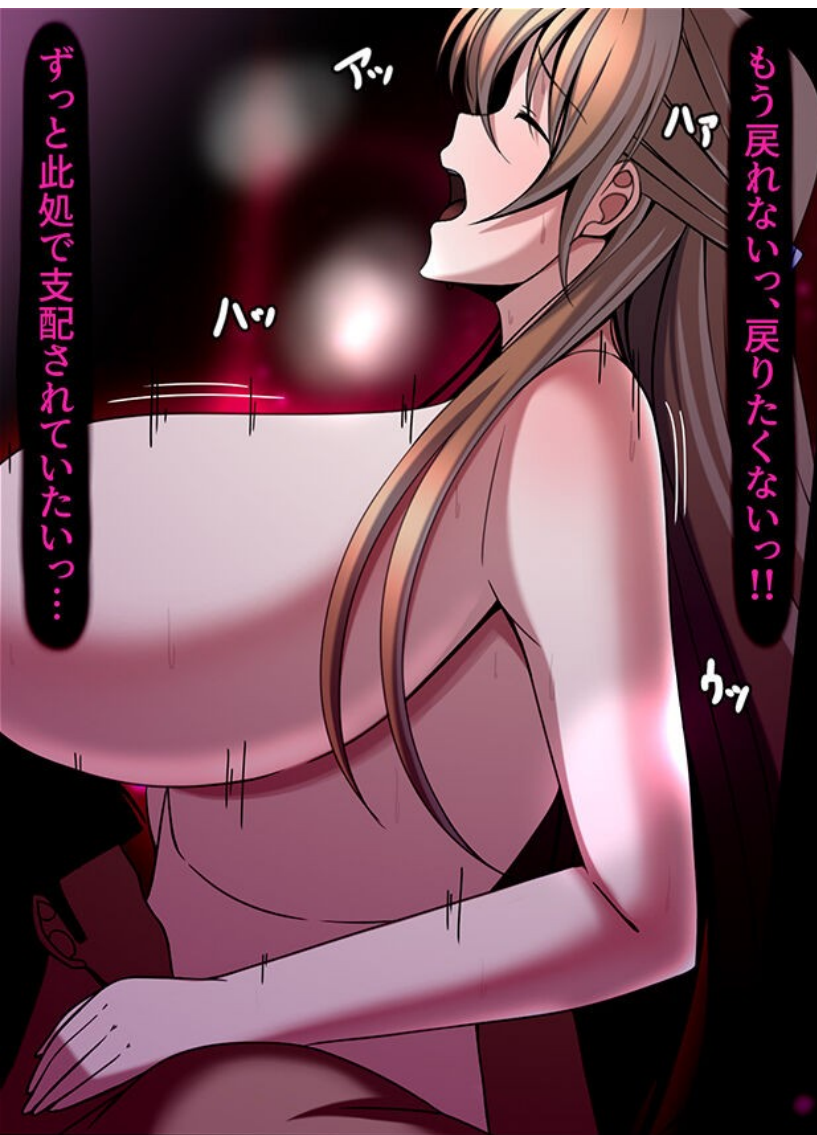
それはっ…
でも気持ちよくて、こんなの初めてでっ…



いいんだよアリサ、何もおかしいことはないんだよ
君のように美しく優秀な雌は雄も選ぶべきなんだ
君が悪いわけじゃない、
悪いのは君を満足させられない男の方だ。

そう…よ、
私は悪くない…強い雄がいいだけ…
私優秀なんだもん…雄だって…選ぶべき…私は悪くない…

ドクッ
ドクッ
ズズズ



ずっと此処で支配されていたっ…

アッ

ハア

ハッ

もう戻れないっ、戻りたくないっ!!

ウッ



この人なら…

ハッ

ハッ

ハア

私を満足させてくれる…
屈服させてくれる…

ハア



ああ…こんな気持ち本当に初めて…
好きになりすぎて、ドキドキがとまらないよう…

ん

ん

ビクッ

ビクッ

ビクッ

尽くしたい…この人に尽くしたいっ…
強くて逞しい雄に溺れたいっ



こんなに...

プアッ



強い雄に支配されるのってこんなに...

ハッ

キュッ

うんっ

ああ...好き...
頭がトロけそう...

ハッ

キュッ

チュル

ハッ



甘美で幸せだったなんて...♡

ハッ

トロッ

こんなに

ハッ

ハッ

トロキ...

トロッ

ハッ

トロッ

ハッ...



ああっ…最高だアリサ
少しこのまま出させてくれ

かじこまりました閣下
どうか存分に射精をお楽しみください

ドクッ



ウツ!!
射精です閣下
うづめお出してください!!

もっと腰落としたほうがいいですか?
くねらせ方はいいですか?

ビクッ



うつく…これほどの名器になるとは…
やはり私の眼に狂いはなかった。

光栄です閣下、私も閣下に御使用頂けて
とても幸福です。

これからいつでもこの穴を御利用下さい
閣下専用に入れしておきますので

キュン

キュン

次は私がご奉仕させていただきますね
痛み等ございませんか？

問題ない、スムーズに入っているよ

重みは不快ではございませんか？
その他気になる点などは…

すべて君に任せるよ、アリサ

かしこまりました閣下

誠心誠意務めさせていただきます♥



すこしずつ動きますね

んっ♥まだまだお元気そうですね、閣下♥

子宮を押し上げて…凄い自己主張♥



アハ

アハ

アハ

私の屈服雌マントキョウゴキョウゴキョウゴ♥



ギョッ

閣下とは比べるのもおつがましい
閣下こそ私の主に相応しい雄でございませう。

あゝアしはためですな、早すぎてもう…
アイツばかり気持ちよくなって

ギョッ



♡

ギョッ

ふっ♡んふ♡
おつご…本当に嬉しいです。

随分と溜まってたんだな
それなりにヤッてたのだろう？

ギョッ

ギョッ



ああ、期待しているよ、
私の為に

存分に働いてくれたまえ

ギョッ

私の全てを使って
お役に立ってみせます。

どうか私をお傍に…

ギョッ



いかがですか閣下
お楽しみ頂けてますかっ♡

はあっ♡はあ♡

ギョッ

ビクッ

ビクッ

ギョッ



あん♡閣下あ♡

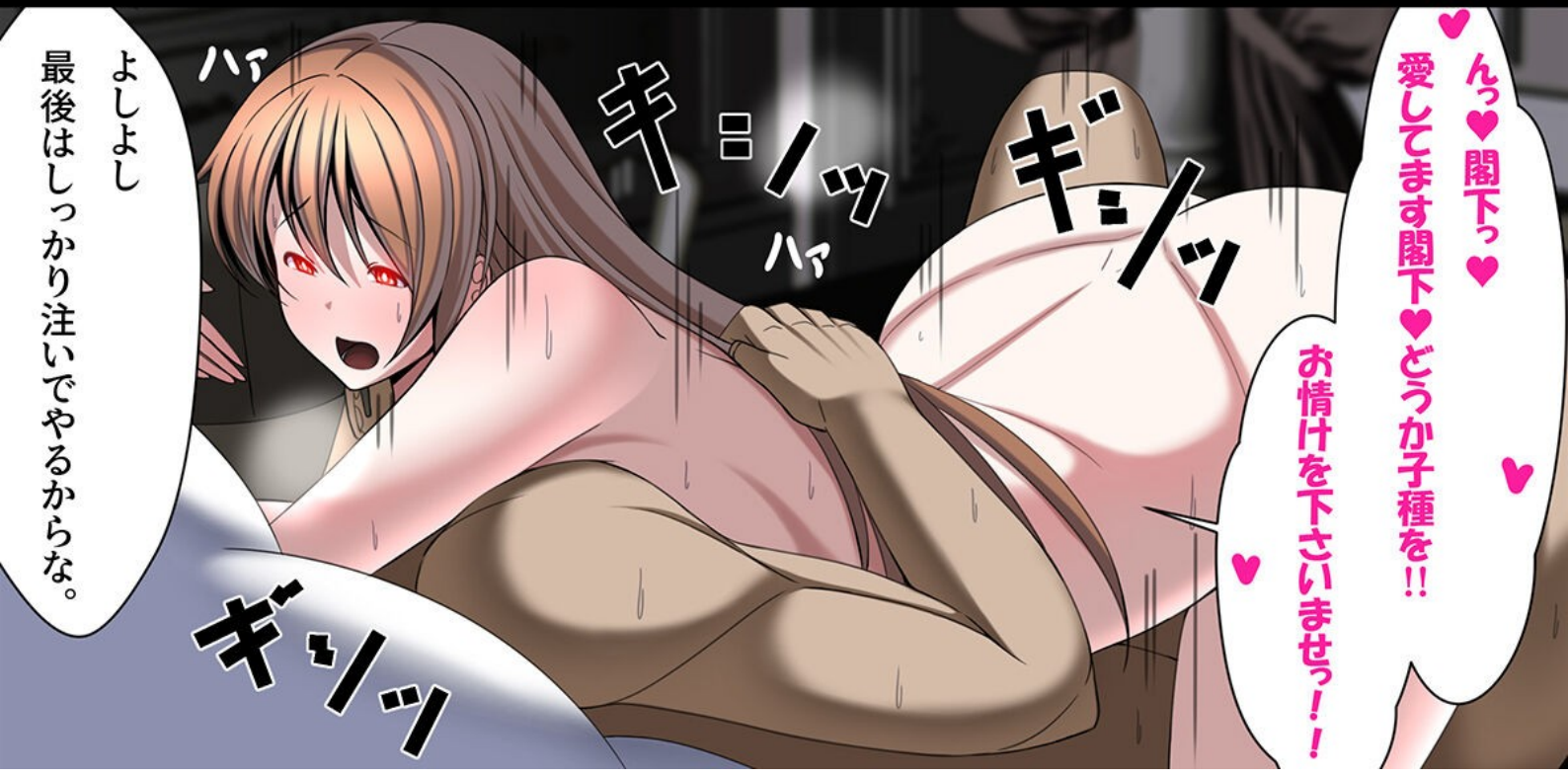
ああ、閣下♡
うれしい♡私、幸せですっ♡

ビクッ

キョッ

ビクッ

ギョッ



よしよし
最後はしっかり注いでやるからな。

んっ♡閣下っ♡
愛してます閣下♡ごつか子種を!!

お情けを下さませっ!!

キョッ

ギョッ

ギョッ

閣下…♡

もっと、もっと深く繋がりたい…

ドクッ

ハッ

ハッ

ドクッ

ズズズ

もっと尽くして、もっと愛されたいっ

もっと捧げさせてほしい…

もう気持ち収まらないっ

ドク

ハッ

ハッ

ハッ

ドクッ

ハッ

なんだろうこの感じ…

何かが溢れてくるような…



闇下っ!!身体がっ!!身体が変ですっ!!

あっ!!あああああああっ!!



いぞアリサ、これでお前は完全に私のモノだっ!!

おおっ!ついに来たかっ!!



私のすべてが変わっていくっ!!

ドクン

ドクン

ピク

ハア

ハア

ハア



変わるっ!! 身体がっ

ドクン

ピク

ドクン

ハア

ハア



怪人化がこんなに素晴らしかったなんて

ドクン

最高の気分だわ♡

この高揚感…なんていい気分なの。

ハア

ハア

ハア

見て下さい閣下♡

立派なツノがっ♡これですっぞ、永遠にオマンレでいきますっ!!
閣下!!愛しています!!閣下あ♡!!

ビク

ビクッ



数週間後…

ふふ、今日の男も千ヨロかったわね
閣下にいい情報をご報告できようたわ。

ちゅっちゅと色気を見せたら

…いやさへいっしょにスリスリ

ポイン

ポイン

プリン

本当に、閣下以外の それも人間の男なんてくだらないわ







いや、そうだよな ごめん
ちよっとすみしくてね…

アリス、なんだよこいつはもうお前をこぼれ



ごめんねサトルう
私今とっついてもせこくへえ

なかなか時間が取れないの〜



とはいえ、まだいつは使えるわ
閣下のためにもまだ切るわけにはいかないわね…

アリス…君には…



はい、閣下

だがその前に頼みがあるのだ。



君には、

私の子を産んでもらうつもりでいる。



なんないと、

なんないとお申し付け下さい



閣下のためどころか、
命すら惜しくはなりません。

ご命令下さい。
いつでも、遠慮なくお申し付け下さい。



そこで君に...

諜報活動...ですか？



私の派閥も強固ではあるが
怪人対策課も無能ばかりではない

我々怪人には未だ敵が多い



はい閣下、
必ずお役に立ってご覧に入れますっ!!

理解が早くて助かるよ
なあに、君になびかぬ男などいないさ
角を隠せば、まさか君が怪人だとは
誰も思いません。



ご期待ください閣下♡

もう、しょうがないなあ

私もちっとお話したかったし
時間取ってあげる♡



「色々」ね…

うん、色々聞きたいことあるよ



本当か!?



全ては閣下と私の未来のために……♡

じゃあ、ちょっとお話しよっか。
二人っきりで♡

END♡

